

資料編

- 1 県内所在 国指定・県指定文化財一覧
- 2 県内に所在する国・県・市町指定の無形文化財
及び無形民俗文化財に係る調査報告書(抄)
- 3 用語解説

1 県内所在 国・県指定等文化財一覧

(平成31年4月1日現在)

文化財	国			県			計	
	指定	種別	件数		種別	件数		
有形文化財	重要文化財	国宝	建造物	3	有形文化財		3	
			絵画	1		1		
			工芸品	4		4		
			書跡	2		2		
	重要文化財	重要文化財	建造物	35		建造物	34	69
			絵画	12		絵画	29	41
			彫刻	19		彫刻	63	82
			工芸品	27		工芸品	29	56
			書跡	9		書跡	8	17
			典籍	0		典籍	10	10
			古文書	12		古文書	8	20
			考古資料	4		考古資料	25	29
	歴史資料	8	歴史資料	16		24		
無形文化財	重要無形文化財	芸能	0	無形文化財	芸能	1	1	
		工芸	1	工芸	2	3		
民俗文化財	重要民俗文化財	有形	11	民俗文化財	有形	8	19	
		無形	5	無形	34	39		
記念物	記念物	特別天然記念物※1	3	記念物		3		
		史跡※2	43		史跡	31	74	
		名勝※2	12		名勝	5	17	
		天然記念物 ※1※2	41		天然記念物	52	93	
計			252	計		355	607	
記録作成等の措置を講ずべき無形文化財(選択)			3				3	
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財(選択)			10				10	
重要伝統的建造物群保存地区(選定)			5				5	
選定保存技術			1				1	
参考	登録有形文化財			101			101	
	登録有形民俗文化財			1			1	
	登録記念物			3			3	
	重要美術品	絵画	彫刻	工芸品	書跡	考古資料	32	
		1	2	9	19	1		

*1 「地域を定めず指定したもの」「2都道府県以上にわたるもの」については含めない。

*2 「史跡及び天然記念物」「名勝及び天然記念物」「天然記念物及び名勝」については、それぞれ重複して含める。

(1) 国指定等文化財一覧

国宝(建造物)

名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
功山寺仏殿	下関市長府	功山寺	M36.4.15
住吉神社本殿	下関市一の宮住吉一丁目	住吉神社	M36.4.15
瑠璃光寺五重塔	山口市香山町	瑠璃光寺	M36.4.15

国宝(美術工芸品)

種別	名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
絵画	紙本墨画淡彩四季山水図 雪舟筆 文明十八年の年紀がある 附 紙本墨書送雪舟帰国詩並序 徐璣筆 一幅 附 紙本墨画淡彩四季山水図 伝雲谷等 顔筆 一卷	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S6.1.19
工芸品	鉄宝塔(水晶五輪塔共) 建久八年十一月二十二日、造東大寺大勸 進大和尚位南無阿弥陀仏在銘	防府市大字牟礼	阿弥陀寺	M35.7.31
工芸品	菊造腰刀 刀身無銘 伝当麻	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S27.3.29
書跡	紙本墨書古今和歌集卷第八(高野切本)	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S6.12.14
書跡	史記呂后本紀第九 延久五年正月大江家国書写加點奥書	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S6.12.23
工芸品	太刀 銘為次(狐ヶ崎) 附 黒漆太刀拵	岩国市横山二丁目	公益財団法人吉川報効会	S8.1.23
工芸品	刀 金象嵌銘 天正十三十二月日江本阿彌 磨上之(花押) 所持稲葉勘右衛門尉(名物稲葉江)	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S26.6.9

重要文化財(建造物)

名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
住吉神社拝殿	下関市一の宮住吉一丁目	住吉神社	S29.9.17
旧下関英国領事館 本館・附属屋 附 煉瓦塀・幣串	下関市唐戸町	下関市	H11.5.13
宇部市渡辺翁記念会館	宇部市朝日町	宇部市	H17.12.27
今八幡宮楼門 附 絵馬一枚	山口市八幡馬場	今八幡宮	M40.5.27
今八幡宮本殿 附 宮殿三基 棟札二枚	山口市八幡馬場	今八幡宮	M40.5.27
今八幡宮拝殿	山口市八幡馬場	今八幡宮	M40.5.27
平清水八幡宮本殿	山口市吉田	平清水八幡宮	M40.5.27
洞春寺観音堂 附 伝厨子裏板一枚	山口市水の上町	洞春寺	T6.8.13
八坂神社本殿 附 棟札二枚	山口市上堅小路	八坂神社	T6.8.13
古熊神社本殿 附 宮殿一基	山口市古熊一丁目	古熊神社	T6.8.13
古熊神社拝殿	山口市古熊一丁目	古熊神社	S24.2.18
月輪寺薬師堂 附 厨子一基 棟札二枚	山口市徳地上村	月輪寺	S24.2.18
龍福寺本堂	山口市大殿大路	龍福寺	S29.9.17
洞春寺山門	山口市水の上町	洞春寺	S29.9.17
山口県旧県庁舎及び県会議事堂 附 棟札一枚 大正四年乙卯九月二十四日上棟の記がある 附 工事関係記録六冊 設計図五枚	山口市滝町	山口県(工事関係記録は 山口県文書館)	S59.12.28

正八幡宮 本殿・拜殿・楼門及び庁屋 附 棟札一枚 再建立元文五庚申ノ八月十三日の記がある	山口市秋穂西	正八幡宮	H1.9.2
有近家住宅 主屋・米蔵・長屋・漬物小屋・正門・仕込蔵及び留蔵・瓶洗場	山口市徳地八坂	個人	H24.12.28
常念寺表門 附 棟札一枚	萩市下五間町	常念寺	S29.9.17
旧厚狭毛利家萩屋敷長屋 附 棟札一枚 上棟安政三丙辰五月吉日の記がある	萩市大字堀内	萩市	S41.6.11
東光寺 大雄宝殿(附 棟札三枚)・鐘楼・三門(附 棟札一枚)・総門	萩市大字椿東	東光寺	S41.6.11
森田家住宅 附 貫木門一棟 塀重門一棟 文書一通 天保十四年丁卯十二月三日勤功差出候事の記がある	萩市大字黒川	個人	S49.2.5
口羽家住宅 主屋・表門	萩市大字堀内	個人	S49.5.21
菊屋家住宅 主屋・本蔵・金蔵・米蔵・釜場 附 土塀二棟・古図一枚	萩市呉服町	公益財団法人菊屋家住宅保存会	S49.5.21
熊谷家住宅 主屋・離れ座敷・本蔵・宝蔵	萩市今魚店町	公益財団法人熊谷美術館	S49.5.21
大照院 本堂・庫裡・書院・鐘楼門・経蔵	萩市大字椿	大照院	H14.5.23
国分寺金堂 附 旧風鐸 一個 安永八己ノ亥歳正月九日再建の刻銘がある 旧獅子口(繕付)一個 安永八亥ノ五月日の篋書がある	防府市国分寺町	国分寺	H1.9.2
旧毛利家本邸 本館・女中部屋・台所・洗濯所・奥土蔵・台所付倉庫・用達所倉庫・二階建物置・画像堂・石橋・門番所・本門 附 湯沸場一棟・雑品物置上屋一棟・小使溜り一棟・作事納屋一棟・供待一棟・棟札一枚・建築関係資料176点・設計図面175枚・防府邸新築竣成報告書1冊	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	H23.11.29
關伽井坊多宝塔 附 棟札五枚	下松市大字末武上	關伽井坊	M40.5.27
旧目加田家住宅	岩国市横山二丁目	岩国市	S49.2.5
吉香神社 本殿・拜殿及び幣殿・神門・鳥居 附 棟札二枚	岩国市横山二丁目	吉香神社	H16.12.10
石城神社本殿 附 宮殿一基・棟札二枚	光市大字塩田	石城神社	M40.5.27
早川家住宅	長門市通	個人	S49.2.5
国森家住宅	柳井市大字柳井津	個人	S49.2.5
旧小野田セメント製造株式会社竪竪	山陽小野田市大字小野田	太平洋セメント株式会社	H16.12.10
四階楼 附 弊串一本 明治十二年六月	上関町大字室津	上関町	H17.12.27

重要文化財(美術工芸品)

種別	名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
絵画	絹本着色十二天曼荼羅図(寺伝安鎮曼荼羅)	下関市東南部町	国分寺	M37.2.18
絵画	絹本着色仁王経曼荼羅図	下関市豊田町大字江良	神上寺(山口県立山口博物館)	S53.6.15
彫刻	木造不動明王立像	下関市豊田町大字江良	神上寺	M35.7.31
彫刻	木造薬師如来立像	下関市西南部町	専念寺	M35.7.31
彫刻	木造阿弥陀如来坐像	下関市豊浦町大字黒井	安養寺	S4.4.6

工芸品	銅鐘	下関市一の宮住吉一丁目	住吉神社	M35.7.31
工芸品	刀 (無銘)(伝則宗)	下関市長府	忌宮神社	T15.4.19
工芸品	太刀 銘備州長船盛光応永廿三年八月 日	下関市長府	忌宮神社	T15.4.19
工芸品	金銅牡丹唐草透唐鞍	下関市一の宮住吉一丁目	住吉神社	S31.6.28
書跡	紙本墨書平家物語(長門本)	下関市阿弥陀寺町	赤間神宮	M39.4.14
書跡	紙本墨書豊浦宮法楽和歌 尊氏外三人筆	下関市長府	忌宮神社	M43.4.20
書跡	住吉社法楽百首和歌短冊(明応四年十二月)	下関市一の宮住吉一丁目	住吉神社	S28.11.14
古文書	赤間神宮文書	下関市阿弥陀寺町	赤間神宮	S51.6.5
古文書	忌宮神社文書(三百七十二通) 附 忌宮神社記録 忌宮神社境内絵図(着色)	下関市長府	忌宮神社	S53.6.5
考古資料	長門国銚銭遺物	下関市長府川端二丁目	下関市(下関市立歴史博物館)	S39.1.28
古文書	南嶺子越住筑前聖福寺諸山疏并江湖疏 延文四年八月(絹本)	宇部市棚井	東隆寺(宇部市文化会館)	H4.6.22
歴史資料	慶長国絵図 控図 周防国・長門国	宇部市朝日町	宇部市(宇部市文化会館)	H1.6.12
絵画	絹本着色維摩居士像	山口市水の上町	洞春寺(大阪市立美術館)	M37.2.18
絵画	紙本墨画山水図 雪舟筆 奥二長谷川某模写ノ補図及識語(文明六年 雪舟記)並ニ木下長俊ノ跋文アリ	山口市龜山町	山口県(山口県立美術館)	S25.8.29
絵画	紙本淡彩放牛図 雪舟筆(仿李唐)(渡河)	山口市龜山町	山口県(山口県立美術館)	S25.8.29
絵画	紙本淡彩放牛図 雪舟筆(仿李唐)(牧童)	山口市龜山町	山口県(山口県立美術館)	S25.8.29
絵画	絹本着色毛利元就像 永禄五年九月仁如集堯の賛がある	山口市野田	豊栄神社(山口県立山口博物館)	S44.6.20
絵画	紙本墨画天神図 永享元年十一月惟肖得巖の賛がある	山口市古熊一丁目	古熊神社	S48.6.6
彫刻	木造十一面観音立像	山口市八幡馬場	神福寺	T6.8.13
彫刻	木造大日如来坐像	山口市吉敷	龍蔵寺	S19.9.5
彫刻	木造平子重経(沙弥西仁)坐像	山口市仁保下郷	源久寺	H4.6.22
工芸品	太刀 銘口友 伝助友 附 衛府太刀拵	山口市野田	野田神社(山口県立山口博物館)	T1.9.3
工芸品	鱗口(大内義隆寄進)	山口市八幡馬場	今八幡宮(山口市立歴史民俗資料館)	S34.12.18
工芸品	梵鐘(大内義隆寄進)	山口市大内御堀	興隆寺	S34.12.18
工芸品	四天王図鎗金屏 平江管勝造の黒漆印銘がある	山口市吉敷	龍蔵寺	H2.6.29
古文書	熊谷家文書(二百十五通)	山口市後河原	個人(山口県文書館)	S48.6.6
古文書	有光家文書 長門国正吉郷入江塩浜絵図	山口市後河原	山口県(山口県文書館)	H4.6.22
歴史資料	防長土図 附 長持並櫃 明和四年四月	山口市春日町	山口県(山口県立山口博物館)	H5.1.20
歴史資料	正徳元年朝鮮通信使進物並びに進物目録	山口市春日町	山口県(山口県立山口博物館)	H5.6.10
歴史資料	大内版法華経板木	山口市後河原	山口県(山口県文書館)	H10.6.30
歴史資料	山口県行政文書	山口市後河原	山口県(山口県文書館)	H17.6.9
歴史資料	過書船旗 天正九年四月廿八日 能島村上家文書	山口市後河原	個人(山口県文書館)	H27.9.4
絵画	絹本着色春冬山水図 載文進筆	萩市呉服町	公益財団法人菊屋家住宅保存会	S31.6.28
彫刻	木造聖観音立像	萩市大字椿	南明寺	M35.7.31
彫刻	木造千手観音立像	萩市大字椿	南明寺	M35.7.31
彫刻	木造赤童子立像	萩市大字椿	大照院	M35.7.31
工芸品	太刀 銘延吉 附 絲巻太刀拵	萩市大字堀内	志都岐山神社(萩博物館)	T8.4.12

工芸品	太刀 銘光房 弘安三年十月 日 附 革包太刀拵	萩市大字堀内	志都岐山神社(萩博物館)	T15.4.19
書跡	雪峯東山空和尚外集(石屏子介手沢本)	萩市大字椿東	龍藏寺(萩博物館)	S49.6.8
歴史資料	日明貿易船旗 万曆十二年十月吉日(麻布) 高洲家文書	萩市土原	個人(山口県文書館)	H22.6.29
絵画	紙本著色松崎天神縁起箱入 応長元年閏六月の奥書がある 附 紙本著色松崎天神縁起 六巻	防府市松崎町	防府天満宮	M37.2.18
絵画	紙本著色毛利元就像 天正十九年菟喜ノ賛アリ	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S16.7.3
彫刻	木造重源坐像	防府市大字牟礼	阿弥陀寺	M35.7.31
彫刻	木造大日如来坐像	防府市松崎町	防府天満宮	M35.7.31
彫刻	木造日光菩薩立像・木造月光菩薩立像	防府市国分寺町	国分寺	S19.9.5
彫刻	木造四天王立像	防府市国分寺町	国分寺	S19.9.5
彫刻	木造阿弥陀如来坐像	防府市国分寺町	国分寺	S19.9.5
彫刻	木造金剛力士立像	防府市大字牟礼	阿弥陀寺	S31.6.28
彫刻	木造獅子頭 上顎内面に正平十年の修理銘がある 附 木造獅子頭一面 下顎内面に正平十年の銘がある 附 木造鼻高面一面 正平十年の朱塗銘がある	防府市松崎町	防府天満宮	H4.6.22
彫刻	木造薬師如来坐像 附 木造仏手	防府市国分寺町	国分寺	H11.6.7
工芸品	太刀 銘備前国口口(伝友成)	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S8.1.23
工芸品	金銅宝塔 天神宝前置承安二年二月廿九日ノ銘アリ	防府市松崎町	防府天満宮	S13.8.26
工芸品	浅黄糸威褌取鑑 兜付 附 立拳脛当一双 附 鑑唐櫃 正長二年正月廿六日の朱漆寄進銘がある	防府市松崎町	防府天満宮	S28.11.14
工芸品	浅黄糸威鑑	防府市松崎町	防府天満宮	S34.6.27
工芸品	梵鐘 鑄出銘のうち「文応辛酉年活洗庚午日」「鑄工沙弥生蓮」とある	防府市松崎町	防府天満宮	S37.2.2
工芸品	色々威腹巻 兜、大袖、喉輪付	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S39.1.28
工芸品	紙本墨書刀絵図 文禄三年六月十四日日本阿弥光徳の安芸宰相宛奥書がある	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S39.5.26
工芸品	能装束 紅萌葱地山道菊桐文片身替唐織	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S45.5.25
工芸品	紅地桐文散錦直垂	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S46.6.22
工芸品	紫韋威鑑	防府市松崎町	防府天満宮	S47.5.30
工芸品	松藤蒔絵文台硯箱	防府市松崎町	防府天満宮	S55.6.6
書跡	紺紙金泥般若心経 後奈良院宸翰 附 光豊寄進状一通	防府市国分寺町	国分寺	M43.4.20
書跡	紙本墨書阿弥陀寺田畠注文並免除状	防府市牟礼	阿弥陀寺	M43.4.20
書跡	紙本墨書東大寺領周防国宮野庄田畠等立券文 建久六年九月日 俊乗坊重源ノ袖判裏判アリ	防府市牟礼	個人	S11.5.6
書跡	紙本墨書周防国阿弥陀寺田畠注文 正治二年十月日	防府市牟礼	個人	S11.5.6
書跡	紙本墨書後深草天皇宸翰御消息 十二月廿五日	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S11.5.6

古文書	毛利家文書 一、毛利家重書文書 附 寛延二年二月御什書惣目録一冊 一、歴代藩主関係文書	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S48.6.6
古文書	周防国一宮造替神殿宝物等目録 建久六年九月廿八日重源加判 附 建武二年九月日周防国一宮玉祖社造 替目録(大内弘幸加判)一卷 文明十一年十二月八日周防国一宮玉祖社 御神用米在所注文(大内政弘加判)一卷	防府市大字大崎	玉祖神社	S51.6.5
考古資料	鉄印 東大寺槌印	防府市大字牟礼	阿弥陀寺	M35.7.31
歴史資料	大内氏勘合貿易印等関係資料	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S54.6.6
工芸品	太刀 銘備前国福岡住左兵衛尉長則 嘉元(以下不明)	岩国市横山二丁目	吉香神社	T1.9.3
工芸品	太刀 銘安吉	岩国市今津町六丁目	白崎八幡宮	T15.4.19
工芸品	太刀 銘貞和三年丁亥十月 日守吉作 防州白崎八幡宮御剣 願主源兼胤 附 太刀(同銘無焼刃)一口	岩国市今津町六丁目	白崎八幡宮	S2.4.25
工芸品	山道草花鶴亀文織箔胴服	岩国市横山二丁目	公益財団法人吉川報効会	S47.5.30
工芸品	色々威腹巻	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S47.5.30
書跡	紙本墨書吾妻鏡 四十七冊並二年譜一冊 第四十七冊ニ大永二年右田弘詮書写ノ奥書 アリ	岩国市横山二丁目	公益財団法人吉川報効会	S9.1.30
書跡	紙本墨書細字法華経八卷 附 仁和寺任助法親王御譲状(天正十二 年六月廿一日)一通	岩国市横山二丁目	公益財団法人吉川報効会	S16.7.13
書跡	太平記 吉川元春筆 各冊自永禄六年至八年書写奥書 附 太平記目録一冊	岩国市横山二丁目	公益財団法人吉川報効会	S34.12.18
書跡	元亨釈書 吉川経基筆	岩国市横山二丁目	公益財団法人吉川報効会	S34.12.18
書跡	吉川家文書	岩国市横山二丁目	公益財団法人吉川報効会	S49.6.8
工芸品	銅鐘 周防州三井村賀茂靈祠撞鐘貞治六年三月 十五日ノ後銘アリ	光市三井一丁目	賀茂神社	S14.10.25
彫刻	木造釈迦如来立像・木造阿弥陀如来立像	長門市油谷向津具下	二尊院	S19.9.5
考古資料	有柄細形銅劍	長門市油谷向津具下	個人	S31.6.28
絵画	絹本着色陶弘護像 文明十六年十一月牧松周省の賛がある	周南市大字大道理	龍豊寺(周南市美術博物 館)	S49.6.8
考古資料	山口県竹島古墳出土品	周南市本陣町	個人	S63.6.6
彫刻	木造阿弥陀如来坐像	周防大島町大字日見	西長寺	S19.9.5

重要無形文化財

種別(名称)	保持者	居住地	認定年月日
金工(彫金)	山本 晃	光市	H26.10.23

重要有形民俗文化財

名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
蓋井島「山ノ神」の森	下関市蓋井島	(下関市)	S35.10.11
岸見の石風呂	山口市徳地岸見	山口市	S33.4.18
須佐宝泉寺・黄帝社奉納船絵馬	萩市須佐	宝泉寺(萩博物館)	H22.3.11
江崎のまるきぶね	防府市お茶屋町	山口県(防府市)	S32.6.3
製塩用具	防府市お茶屋町	防府市	S34.5.6
阿弥陀寺の湯屋 附 旧鉄湯釜一口 附 鉄湯舟残欠一口	防府市大字牟礼	阿弥陀寺(防府市)	S47.8.3

赤崎神社楽棧敷	長門市東深川	長門市	S38.10.26
長門の捕鯨用具	長門市通	長門市(くじら資料館)	S50.9.3
久賀の石風呂	周防大島町大字久賀	周防大島町	S33.4.18
久賀の諸職用具	周防大島町大字久賀	周防大島町(久賀の諸職用具保管施設)	S53.8.5
周防大島東部の生産用具	周防大島町大字西方	周防大島町(東和収蔵庫)	H2.3.29

重要無形民俗文化財

名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
地福のトイトイ	山口市阿東地福上、地福下	地福トイトイ保存会	H24.3.8
岩国行波の神舞	岩国市大字行波	岩国行波の神舞保存会	S54.2.3
周防祖生の柱松行事	岩国市周東町祖生	祖生柱松行事保存会	H1.3.20
阿月の神明祭	柳井市大字阿月	神明祭顕彰会	H21.3.11
三作神楽	周南市大字夏切	三作神楽保存会	H12.12.27

重要無形民俗文化財

名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
地福のトイトイ	山口市阿東地福上、地福下	地福トイトイ保存会	H24.3.8
岩国行波の神舞	岩国市大字行波	岩国行波の神舞保存会	S54.2.3
周防祖生の柱松行事	岩国市周東町祖生	祖生柱松行事保存会	H1.3.20
阿月の神明祭	柳井市大字阿月	神明祭顕彰会	H21.3.11
三作神楽	周南市大字夏切	三作神楽保存会	H12.12.27

特別天然記念物

名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
八代のツルおよびその渡来地	下松市大字瀬戸字大峠 周南市大字八代	(周南市)	特別天然記念物 S30.2.15 (天然記念物T10.3.3)
秋芳洞	美祿市秋芳町大字秋吉	(美祿市)	特別天然記念物 S27.3.29 (天然記念物T11.3.8)
秋吉台	美祿市美東町・秋芳町	(美祿市)	特別天然記念物 S39.7.10 (天然記念物S3.2.7)

史跡・名勝・天然記念物

種別	名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
史跡	長門鑄銭所跡	下関市長府安養寺三丁目	寛苑寺ほか(下関市)	S4.12.17
史跡	高杉晋作墓	下関市大字吉田	東行庵(下関市)	S9.5.1
史跡	中山忠光墓	下関市綾羅木本町	中山神社(下関市)	S16.8.1
史跡	土井ヶ浜遺跡	下関市豊北町大字神田上	下関市	S37.6.21
史跡	綾羅木郷遺跡	下関市綾羅木	下関市	S44.3.11
史跡	梶栗浜遺跡	下関市大字富任字久保	下関市	S55.3.14
史跡	仁馬山古墳	下関市大字延行・有富	下関市ほか(下関市)	H3.5.15
史跡	長州藩下関前田台場跡	下関市前田一丁目	下関市	H22.8.5
史跡	勝山御殿跡	下関市大字田倉	下関市	H31.2.26
名勝及び天然記念物	石柱溪	下関市豊田町大字今出	下関市ほか(下関市)	T15.10.20
名勝	狗留孫山	下関市豊田町大字李路子	修禪寺(下関市)	S15.8.30

天然記念物	川棚のクスの森	下関市豊浦町大字川棚	下関市ほか(下関市)	T11.10.12
天然記念物	満珠樹林	下関市大字豊浦村	忌宮神社(下関市)	T15.10.20
天然記念物	干珠樹林	下関市大字豊浦村	忌宮神社(下関市)	T15.10.20
天然記念物	大吼谷蝙蝠洞	下関市豊浦町大字小串	(下関市)	S3.3.24
天然記念物	小串エヒメアヤメ自生南限地帯	下関市豊浦町大字小串	下関市ほか(下関市)	S5.11.19
天然記念物	六連島の雲母玄武岩	下関市大字六連島	(下関市)	S9.1.22
天然記念物	壁島ウ渡来地	下関市豊北町大字神田上	(下関市)	S9.5.1
天然記念物	恩徳寺の結びイブキ	下関市豊北町大字神田	(下関市)	S30.10.26
天然記念物	木屋川・音信川ゲンジボタル発生地	下関市	(下関市)	S32.10.16
名勝	宗隣寺庭園	宇部市大字小串	宗隣寺(宇部市)	S58.2.7
天然記念物	吉部の大岩郷	宇部市大字西吉部	宇部市	S10.12.24
史跡及び名勝	常栄寺庭園	山口市宮野下	常栄寺	T15.2.24
史跡	大村益次郎墓	山口市鑄銭司	個人(山口市)	S10.12.24
史跡	野谷石風呂	山口市徳地野谷	個人(山口市)	S10.12.24
史跡	佐波川開水	山口市徳地船路		S12.6.15
史跡	陶陶窯跡	山口市陶	個人(山口市)	S23.1.14
史跡	大内氏遺跡附凌雲寺跡	山口市上宇野令ほか	山口市ほか(山口市)	S34.11.27
史跡	周防鑄銭司跡	山口市鑄銭司	山口市ほか(山口市)	S48.3.13
史跡	萩藩主毛利家墓所	山口市香山町	個人	S56.5.11
史跡	朝田墳墓群	山口市朝田・吉敷	山口市(山口市)	S57.4.30
史跡	萩往還(関連遺跡:国境の碑・一の坂一里塚・六軒茶屋)	山口市	山口市ほか	H1.9.22
史跡	周防灘干拓遺跡(名田島新開作南蛮樋)	山口市名田島	山口市	H8.3.28
名勝	長門峽	山口市阿東	山口県ほか	T12.3.7
名勝	常德寺庭園	山口市阿東蔵目喜	常德寺ほか(山口市)	H12.12.27
天然記念物	小郡町ナギ自生北限地	山口市小郡上郷	個人(山口市)	T11.10.12
天然記念物	平川の大スギ	山口市吉田	平清水八幡宮(山口市)	S3.1.18
天然記念物	法泉寺のシンパク	山口市滝町	個人(山口市)	S3.1.18
天然記念物	山口ゲンジボタル発生地	山口市(一円)	(山口市)	S10.12.24
天然記念物	龍蔵寺のイチョウ	山口市吉敷	龍蔵寺(山口市)	S17.7.21
天然記念物	出雲神社ツルマンリョウ自生地	山口市徳地堀	出雲神社(山口市)	S32.2.22
史跡	松下村塾	萩市大字椿東	松陰神社	T11.10.12
史跡	吉田松陰幽囚ノ旧宅	萩市大字椿東	松陰神社	T11.10.12
史跡	萩反射炉	萩市大字椿東	萩市	T13.12.9
史跡	旧萩藩校明倫館	萩市大字江向	萩市	S4.12.17
史跡	木戸孝允旧宅	萩市呉服町	萩市	S7.3.25
史跡	伊藤博文旧宅	萩市大字椿東	萩市	S7.3.25
史跡	旧萩藩御船倉	萩市大字東浜崎	萩市	S11.12.16
史跡	萩城跡	萩市大字堀内字旧城ほか	萩市ほか(萩市)	S26.6.9

史跡	萩城城下町	萩市呉服町・南古萩町	萩市ほか(萩市)	S42.1.10
史跡	萩藩主毛利家墓所	萩市大字堀内 萩市大字椿字青海	個人ほか	S56.5.11
史跡	見島ジーコンボ古墳群	萩市見島	萩市ほか(萩市)	S59.7.25
史跡	萩往還(関連遺跡:唐樋札場跡・涙松跡・悴坂一里塚跡・悴坂駕籠建場・上長瀬一里塚・逆修石)	萩市	萩市ほか	H1.9.22
史跡	大板山たたら製鉄遺跡	萩市大字紫福	萩市	H24.9.19
史跡	恵美須ヶ鼻造船所跡	萩市大字椿東	萩市ほか(萩市)	H25.10.17
名勝	長門峡	萩市	山口県ほか	T12.3.7
名勝及び天然記念物	須佐湾	萩市須佐	萩市ほか(萩市)	S3.3.5
天然記念物	明神池	萩市大字椿東越ヶ浜	萩市	T13.12.9
天然記念物	笠山コウライタチバナ自生地	萩市大字椿東	越ヶ浜浦組ほか(萩市)	T15.2.24
天然記念物	見島ウシ産地	萩市見島	(萩市)	S3.9.20
天然記念物	見島のカメ生息地	萩市見島	(萩市)	S3.9.20
天然記念物	川上のユズおよびナンテン自生地	萩市川上宇遠谷	福昌院(萩市)	S16.8.1
天然記念物	須佐高山の磁石石	萩市大字須佐	萩市	S11.12.16
天然記念物	指月山	萩市大字堀内字旧城	萩市	S46.3.16
史跡	敷山城跡	防府市大字牟礼	牟礼地区(防府市)	S10.6.7
史跡	周防国衙跡	防府市国衙ほか	防府市ほか(防府市)	S12.6.15
史跡	大日古墳	防府市大字高井	大日地区(防府市)	S23.1.14
史跡	周防国分寺旧境内	防府市国分寺町	国分寺ほか(防府市)	S32.7.10
史跡	萩往還(関連遺跡:宮市本陣兄部家・三田尻御茶屋旧構内・住吉神社石造燈台・三田尻御舟倉跡)	防府市	防府市ほか(防府市)	H1.9.22
名勝	毛利氏庭園	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	H8.3.29
天然記念物	エヒメアヤメ自生南限地帯	防府市大字西浦	防府市ほか(防府市)	T14.10.8
天然記念物	向島タヌキ生息地	防府市大字向島	防府市ほか(防府市)	T15.2.24
名勝	錦帯橋	岩国市錦見・横山	(岩国市)	T11.3.8
天然記念物	岩屋観音窟	岩国市美川町根笠	護聖寺(岩国市)	S9.1.22
天然記念物	南桑カジガガエル生息地	岩国市美川町南桑	(岩国市)	S11.9.3
史跡	石城山神籠石	光市石城・山中	光市ほか(光市)	S10.6.7
天然記念物	峨眉山樹林	光市大字室積	山口県(光市)	S7.4.25
史跡及び天然記念物	大日比ナツミカン原樹	長門市仙崎	個人(長門市)	S2.4.8
史跡	青海島鯨墓	長門市通	向岸寺(長門市)	S10.12.24
史跡	村田清風旧宅および墓	長門市三隅下	長門市	S16.8.1
名勝及び天然記念物	青海島	長門市仙崎・通	長門市ほか(長門市)	T15.10.20
名勝及び天然記念物	俵島	長門市油谷向津具下	(長門市)	S2.6.14
天然記念物及び名勝	竜宮の潮吹	長門市油谷津黄	(長門市)	S9.8.5
天然記念物	木屋川・音信川ゲンジボタル発生地	長門市	(長門市)	S32.10.16
史跡	茶臼山古墳	柳井市大字柳井	柳井市	S23.1.14
天然記念物	余田臥龍梅	柳井市大字余田	個人(柳井市)	S8.4.13

史跡	長登銅山跡	美祢市美東町大字長登地内	美祢市ほか(美祢市)	H15.7.25
天然記念物	景清穴	美祢市美東町	美祢市	T11.3.8
天然記念物	大正洞	美祢市美東町	美祢市	T12.3.7
天然記念物	中尾洞	美祢市秋芳町大字青景	美祢市	T12.3.7
天然記念物	万倉の大岩郷	美祢市伊佐町奥万倉	美祢市	S10.12.24
天然記念物	大玉スギ	周南市大字須々万	飛竜八幡宮(周南市)	S5.8.25
史跡	周防灘干拓遺跡(高泊開作浜五挺唐樋)	山陽小野田市大字西高泊	山陽小野田市	H8.3.28
天然記念物	安下庄のシナナシ	周防大島町大字西安下庄	個人(周防大島町)	S29.3.20
史跡	白須たたら製鉄遺跡	阿武町郷郷白須	阿武町・山口県(阿武町)	S57.3.23

*「地域を定めず指定した」天然記念物について

天然記念物(含 特別天然記念物)には、「地域を定めずに指定したもの」があり、これらは県内に生息しているも、通常本県の天然記念物に数えない。代表的なものに以下のものがある。

種別	名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
特別天然記念物	オオサンショウウオ	地域を定めず		特別天然記念物 S27.3.29 (天然記念物S26.6.9)

種別	名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
天然記念物	烏骨鶏	地域を定めず		S17.7.21
天然記念物	黒柏鶏	地域を定めず		S26.6.9
天然記念物	岩国のシロヘビ	地域を定めず	(岩国市)	S47.8.4

記録作成等の措置を講ずべき無形文化財

種別(名称)	保持者(芸名・雅号)	所在地	備考	選択年月日
陶芸(萩焼)	三輪邦廣(三輪休和)	萩市	S56.10.24死亡	S32.3.30
	十二代 坂倉新兵衛	長門市	S60.12.3死亡	
能楽(鶯流狂言)	山口鶯流狂言保存会	山口市		H9.5.27

記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

名称	所在地	備考	選択年月日
蓋井島「山の神」神事	下関市蓋井島		S34.3.28
徳地人形浄瑠璃	山口市徳地堀	S51.3.16 県指定無形民俗文化財「徳地人形浄瑠璃」	S48.11.5
玉祖神社の占手神事	防府市大崎	S51.11.24 県指定無形民俗文化財「玉祖神社の占手神事」	H9.12.4
岩国南条踊	岩国市	S51.3.16 県無形民俗文化財「岩国南条踊」	S49.12.4
行波の神舞	岩国市行波	S54.2.3 国指定重要無形民俗文化財「岩国行波の神舞」	S51.12.25
赤崎神社奉納芸能	長門市深川	S51.3.16 県指定無形民俗文化財「赤崎神社奉納」	S47.8.5
滝坂神楽舞	長門市三隅上	S51.11.24 県指定無形民俗文化財「滝坂神楽舞」	H21.3.11
八代の花笠踊	周南市大字八代	S51.3.16 県指定無形民俗文化財「花笠踊」	S46.4.21
三作神楽	周南市大字夏切	H12.12.27 国指定重要無形民俗文化財「三作神楽」	H6.12.13
周防・長門の辻堂の習俗	県内全域		S59.12.20

選定保存技術

名称	保持者	居住地	認定年月日
建造物彩色	馬場良治	宇部市	H26.10.23

登録有形文化財(建造物)

名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
下関市水道局内日第一貯水池取水塔	下関市大字内日字猿山	下関市	H10.1.16
下関市水道局内日貯水池事務所	下関市大字内日字猿山	下関市	H10.1.16
下関市水道局高尾浄水場着水井	下関市春日町	下関市	H10.1.16
下関市水道局高尾浄水場四号円形濾過池	下関市春日町	下関市	H10.1.16
下関市水道局高尾浄水場四号円形濾過池付設調節井	下関市春日町	下関市	H10.1.16
下関市水道局高尾浄水場配水池	下関市春日町	下関市	H10.1.16
下関市水道局内日第二貯水池取水塔	下関市大字内日上字下瀬戸	下関市	H10.1.16
下関市水道局内日第二貯水池溢水隧道入口	下関市大字内日上字下瀬戸	下関市	H10.1.16
下関市水道局水道資料室(旧日和山浄水場事務所)	下関市長崎中央町	下関市	H10.1.16
下関市立長府博物館本館(旧長門尊攘堂)	下関市長府川端	下関市	H11.6.7
下関市南部町郵便局庁舎	下関市南部町	日本郵便株式会社	H13.8.28
護國寺本堂	下関市上田中町	護國寺	H15.3.18
日本基督教団下関丸山教会(旧日本メソヂスト下関教会)会堂	下関市丸山町	日本基督教団下関教会	H16.2.17
功山寺総門	下関市長府川端	功山寺	H16.7.23
歌野清流庵	下関市菊川町大字上岡枝	個人	H17.7.12
藤原義江記念館(旧リンガー邸)	下関市阿弥陀寺町	赤間神宮	H18.10.18
中野家住宅主屋	下関市大字内日	個人	H18.11.29
中野家住宅納屋	下関市大字内日	個人	H18.11.29
中野家住宅土蔵	下関市大字内日	個人	H18.11.29
中野家住宅塀	下関市大字内日	個人	H18.11.29
中野家住宅石垣	下関市大字内日	個人	H18.11.29
めぐみ幼稚園第一園舎(旧下関バプテスト教会)	下関市上田中町	学校法人めぐみ学園	H19.5.15
めぐみ幼稚園第二園舎(旧宣教師住宅)	下関市上田中町	学校法人めぐみ学園	H19.5.15
大乘寺山門	下関市長府金屋町	大乘寺	H20.4.18
大乘寺鐘楼	下関市長府金屋町	大乘寺	H20.4.18
日清講和記念館	下関市阿弥陀寺町	下関市	H23.1.26
蜂谷ビル(旧東洋捕鯨株式会社下関支店)	下関市岬之町	個人	H25.3.29
玉椿旅館	下関市豊浦町大字川棚字湯町	個人	H25.3.29
護國寺清正公堂	下関市上田中町	護國寺	H25.12.24
護國寺納骨堂	下関市上田中町	護國寺	H25.12.24
護國寺門柱	下関市上田中町	護國寺	H25.12.24
旧宮崎商館	下関市田中町	個人	H25.12.24
住吉神社楼門	下関市一の宮住吉	宗教法人住吉神社	H29.10.27
住吉神社唐門及び透塀	下関市一の宮住吉	宗教法人住吉神社	H29.10.27
赤間神宮水天門及び回廊	下関市阿弥陀寺町	宗教法人赤間神宮	H30.11.2
旧桃山一号配水池監視廊入口	宇部市大字小串字開立	宇部市	H9.11.5

桃山配水計量室	宇部市大字小串字福富	宇部市	H9.11.5
沖ノ山電車壱坑石垣	宇部市大字小串字沖ノ山	宇部興産株式会社	H9.11.5
永山本家酒造場事務所(旧二俣瀬村役場庁舎)	宇部市大字車地	個人	H29.5.2
山口市水道局電気室(旧宮島水源地ポンプ室)	山口市宮島町	山口市	H10.9.2
クリエイティブ・スペース赤レンガ(旧山口県立山口図書館書庫)	山口市河原町	山口市	H10.9.2
山口県立山口高等学校記念館(旧制山口高等学校講堂)	山口市糸米	山口県	H11.8.23
旧野村家住宅主屋(山口ふるさと伝承総合センターまなび館)	山口市下堅小路	山口市	H11.8.23
旧野村家住宅土蔵	山口市下堅小路	山口市	H11.8.23
江畑溜池堰堤	山口市阿知須源河	山口市	H13.10.12
末宗家住宅主屋(旧山口電信局舎)	山口市白石町一丁目	個人	H18.11.9
山水園本館	山口市緑町	株式会社山水園	H26.4.25
旧桂ヶ谷貯水池堰堤	山口市小郡上郷	山口市	H28.8.1
明倫小学校本館	萩市大字江向	萩市	H8.12.20
萩駅舎	萩市椿	萩市	H8.12.20
むつみ村役場旧庁舎	萩市吉部上	萩市	H9.6.12
むつみ村役場土蔵	萩市吉部上	萩市	H9.6.12
三見橋	萩市三見字梅ノ木	萩市	H10.10.9
鹿背隧道	萩市大字明木字俵ヶ坂～大字椿字俵ヶ坂	萩市	H11.7.8
下横瀬公民館(旧明木村立図書館)	萩市大字明木下横瀬	明木下横瀬地区	H11.11.18
落合の石橋	萩市大字明木佐々並落合	萩市	H11.11.18
防府天満宮本殿・幣殿・拝殿	防府市松崎町	防府天満宮	H21.1.8
三田尻塩田旧越中屋釜屋煙突	防府市大字浜方	防府市	H24.8.13
春風楼	防府市松崎町	防府天満宮	H24.8.13
山内家住宅主屋	防府市栄町	個人	H26.4.25
山内家住宅蔵	防府市栄町	個人	H26.4.25
山内家住宅男衆部屋	防府市栄町	個人	H26.4.25
山内家住宅女衆部屋	防府市栄町	個人	H26.4.25
山内家住宅納屋	防府市栄町	個人	H26.4.25
山内家住宅門及び塀	防府市栄町	個人	H26.4.25
清水家住宅主屋	防府市大字富海	個人	H27.3.26
白石家住宅主屋	防府市宮市町	個人	H30.11.2
白石家住宅呉服蔵	防府市宮市町311他	個人	H30.11.2
白石家住宅道具蔵及び食物蔵	防府市宮市町311他	個人	H30.11.2
岩国徴古館	岩国市横山	岩国市	H10.1.16
國安家住宅	岩国市岩国	岩国市	H12.2.15
旧岩国税務署	岩国市岩国	㈱藤本酒造	H12.2.15
錦雲閣	岩国市横山	岩国市	H12.2.15
水西書院	岩国市川西	岩国市	H12.2.15

旧吉川邸廐門	岩国市横山	岩国市	H16.7.23
JR西岩国駅駅舎	岩国市錦見	岩国市	H18.8.3
旧宇野千代家住宅主屋	岩国市川西二丁目	岩国市	H19.12.5
岩国徴古館第一収蔵庫	岩国市横山二丁目	岩国市	H19.12.5
岩国徴古館第二収蔵庫	岩国市横山二丁目	岩国市	H19.12.5
岩国練武場	岩国市岩国三丁目	岩国市	H24.8.13
光ふるさと郷土館別館 磯部家住宅主屋	光市室積	個人	H11.10.14
光ふるさと郷土館別館 磯部家住宅釜屋	光市室積	個人	H11.10.14
光ふるさと郷土館別館 磯部家住宅離れ座敷(茶室)	光市室積	個人	H11.10.14
柳井市町並み資料館(旧周防銀行本店)	柳井市大字柳井津字金屋町	柳井市	H12.12.4
四熊家住宅主屋	周南市土井	個人	H12.10.18
四熊家住宅診療棟	周南市土井	個人	H12.10.18
周南市市長公舎洋館	周南市慶万町	周南市	H20.10.23
周南市市長公舎和館	周南市慶万町	周南市	H20.10.23
旧日下医院本館	周南市土井	個人	H20.10.23
旧日下医院別館	周南市土井	個人	H20.10.23
旧日下医院正門及び塀	周南市土井	個人	H20.10.23
遠石八幡宮本殿	周南市遠石	遠石八幡宮	H25.12.24
遠石八幡宮幣殿	周南市遠石	遠石八幡宮	H25.12.24
遠石八幡宮拝殿	周南市遠石	遠石八幡宮	H25.12.24
遠石八幡宮祭器庫	周南市遠石	遠石八幡宮	H25.12.24
遠石八幡宮神饌所	周南市遠石	遠石八幡宮	H25.12.24
遠石八幡宮透塀	周南市遠石	遠石八幡宮	H25.12.24
遠石八幡宮神門及び袖塀	周南市遠石	遠石八幡宮	H25.12.24
遠石八幡宮手水舎	周南市遠石	遠石八幡宮	H25.12.24
松室大橋	周南市大字金峰字川本から 周南市大字金峰字上東松室	周南市	H30.11.2
小野田セメント山手倶楽部	山陽小野田市大字小野田字 小屋ノ尾	太平洋セメント株式会社	H12.12.4

登録有形民俗文化財

名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
豊北の漁撈用具	下関市豊北町神田上	下関市(人類学ミュージアム資料収蔵室)	H24.3.8

登録記念物

種別	名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
名勝地 関係	常盤公園	宇部市大字沖宇部字常盤	宇部市	H20.7.28
名勝地 関係	山水園庭園	山口市緑町	山水園	H27.10.7
名勝地 関係	松田屋ホテル庭園	山口市湯田温泉	松田屋ホテル	H29.2.9

(2) 県指定等文化財一覧

有形文化財(建造物)

名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
法輪寺本堂 付 棟木 応永二十年の墨書がある 一本 天神社宮殿 一棟	下関市菊川町大字七見	個人	S42.7.4
旧殿居郵便局局舎 付 棟札 一枚	下関市豊田町大字殿居	個人	S52.3.29
旧滝部小学校本館	下関市豊北町大字滝部	下関市	S54.3.31
山口銀行旧本店 付 棟札 一枚	下関市観音崎町	株式会社山口銀行	H17.10.4
観察院五輪塔 付 自然石板碑 一基	下関市富任町	観察院	H23.12.13
法泉寺厨子	宇部市大字楡小野	法泉寺	S55.12.5
清水寺山王社本殿	山口市宮野下	清水寺	S41.6.10
清水寺観音堂	山口市宮野下	清水寺	S42.1.17
源久寺宝篋印塔	山口市仁保下郷	源久寺	S48.10.19
旧山口藩庁門	山口市滝町	山口県	S62.3.27
正八幡宮鐘楼	山口市秋穂西	正八幡宮	H16.12.10
河村写真館	山口市上堅小路	個人	H18.12.26
萩学校教員室	萩市大字堀内	山口県	S44.12.5
長寿寺十三重塔	萩市大字北古萩町	長寿寺	S48.10.19
旧福原家萩屋敷門	萩市大字堀内	萩市	S49.11.8
旧梨羽家書院	萩市大字堀内	個人	S52.11.11
花月楼	萩市大字椿東	松陰神社	S54.12.4
西堂寺六角堂	萩市江崎	西堂寺	S56.12.11
周防国分寺楼門	防府市国分寺町	国分寺	S41.6.10
護国寺笠塔婆	防府市本橋町	護国寺	S51.11.24
防府天満宮の石大鳥居	防府市松崎町	防府天満宮	S59.11.2
香川家長屋門	岩国市横山二丁目	岩国市	S41.6.10
岩国学校校舎	岩国市岩国三丁目	岩国市	S44.12.5
極楽寺薬師堂 付 厨子 一基	岩国市周東町高森	極楽寺	S49.4.2
旧吉川家岩国事務所	岩国市横山二丁目	岩国市	H24.4.3
旧伊藤博文邸 付 棟札 一枚	光市大字東荷	光市	H5.1.12
二尊院五輪塔	長門市油谷向津具下	二尊院	S48.10.19
大寧寺本堂	長門市湯本字門前	大寧寺	S54.3.31
西圓寺本堂・山門 付 棟札 一枚	長門市仙崎	西圓寺	S57.4.16
山田家本屋	周南市湯野	周南市	S41.6.10
徳修館 付 木主五基・祭器四個	周南市大字安田	周南市	S57.11.5

浄西寺石塔婆	周防大島町大字油宇	浄西寺	S51.11.24
瀬田八幡宮本殿 付 棟札 一枚	和木町大字瀬田	瀬田八幡宮	H10.4.14
旧上関番所	上関町大字長島	上関町	H12.3.31

有形文化財(美術工芸品)

種別	名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
絵画	紙本金地着色安徳天皇絵	下関市阿弥陀寺町	赤間神宮	S41.6.10
絵画	絹本極彩色 智界曼荼羅・理界曼荼羅	下関市豊田町大字江良	功山寺(下関市立歴史博物館)	S41.6.10
絵画	板絵着色繫馬図	下関市一の宮住吉一丁目	住吉神社	H2.11.6
絵画	紙本墨画白衣観音図 怡雲寂闇の賛がある	下関市豊浦町大字川棚	三恵寺	H5.5.14
絵画	狩野芳崖筆板絵着色絵馬 予譲裂衣図	下関市一の宮住吉一丁目	住吉神社	H6.5.2
絵画	狩野芳崖筆板絵着色絵馬 駿牛図	下関市一の宮住吉一丁目	菅原神社(住吉神社)	H6.5.2
絵画	狩野芳崖筆板絵着色絵馬 繫馬図	下関市長府黒門東町	東西山瀬(下関市立美術館)	H6.5.2
絵画	狩野芳崖筆板絵着色絵馬 繫馬図 武内宿禰投珠図	下関市長府宮の内町	忌宮神社	H6.5.2
絵画	絹本着色楊柳観音坐像	下関市長府川端一丁目	功山寺(下関市立歴史博物館)	H7.12.19
彫刻	木造地藏菩薩半跏像	下関市大字豊浦村	功山寺	S41.6.10
彫刻	木造聖観音菩薩立像	下関市有富町	竹生寺	S41.6.10
彫刻	木造虚空蔵菩薩坐像	下関市菊川町大字七見字堂の前	個人	S41.6.10
彫刻	木造千手観音菩薩立像	下関市豊浦町大字川棚	三恵寺	S54.12.4
彫刻	木造薬師如来坐像	下関市豊田町大字江良	神上寺	S55.12.5
工芸品	線刻菩薩形坐像懸仏	下関市豊田町大字八道	八鷹八幡宮	S55.12.5
工芸品	金銅薬師如来坐像懸仏	下関市豊浦町大字吉永	吉永八幡宮	S54.12.4
工芸品	鰐口 天文元年壬辰十一月二十八日葦屋津大工 大江宣秀の銘がある	下関市長府川端一丁目	美栄神社	H1.10.24
書跡	手鑑「筆陳」	下関市長府川端一丁目	下関市(下関市立歴史博物館)	H23.2.8
典籍	明版一切経 付 八角輪蔵 一基	下関市菊川町大字吉賀	快友寺	H5.1.12
古文書	住吉神社文書 一、住吉神社文書 二、大内政弘奥書写本 三、櫛木家旧蔵文書	下関市大字楠乃	住吉神社	S52.11.11
古文書	武久家文書 付 紙本着色武久季依像 一幅	下関市長府川端一丁目	個人	S55.12.5
古文書	安尾家文書	下関市長府川端一丁目	下関市(下関市歴史博物館)	S62.3.27
考古資料	綾羅木郷遺跡出土品	下関市大字綾羅木字岡	下関市(下関市考古博物館)	S51.3.16
考古資料	神上寺銅矛	下関市豊田町大字江良	神上寺	S53.3.31
考古資料	心光寺古墳出土品	下関市長府川端一丁目	下関市(下関市歴史博物館)	S55.4.11
考古資料	土井ヶ浜遺跡出土品	下関市豊北町大字神田	下関市(土井ヶ浜遺跡人類学ミュージアム)	S57.4.16
歴史資料	大内家壁書 下関市長府博物館所蔵本	下関市長府川端一丁目	下関市(下関市歴史博物館)	H8.12.13
絵画	絹本着色孔雀明王像	宇部市藤山区中山	個人	S44.2.4

絵画	紙本着色八幡縁起絵巻 付 納箱 一合 永正十三年丙子五月十一日勸進沙弥 徳在の箱書がある	宇部市大字小野	横瀬八幡宮	S44.4.25
絵画	普応中興大建禪師画像 大明景泰甲戌夏五月の年記がある	宇部市大字棚井	東隆寺(宇部市文化会館)	S44.12.5
彫刻	木造薬師如来坐像	宇部市大字西万倉字宮尾	宮尾八幡宮	S41.6.10
彫刻	木造十一面観音菩薩立像	宇部市大字船木	瑞松庵	S41.6.10
彫刻	木造十一面観音菩薩坐像	宇部市大字東吉部	宇部市	S41.6.10
彫刻	木造地藏菩薩坐像	宇部市大字棚井	東隆寺	S48.3.30
書跡	南嶺和尚道行碑文 付 南嶺和尚道行碑文石碑 一基	宇部市大字棚井	東隆寺(宇部市文化会館)	S44.12.5
書跡	日本安国寺五葉院記	宇部市大字棚井	東隆寺(宇部市文化会館)	S44.12.5
考古資料	沖ノ山出土の中国古銭及び埋納甕 付 半両銭・五銖銭元文五年掘出覚 一通	宇部市大字小串	財団法人渡辺翁記念文化 協会(宇部市立図書館敷 設資料館)	S60.10.29
考古資料	松崎古墳出土品 付 箱式石棺 一基	宇部市大字小串	宇部市(宇部市立図書館 敷設資料館)	S61.10.24
絵画	絹本着色大内義隆画像 異雪慶殊の賛がある	山口市大殿大路	龍福寺	S42.1.17
絵画	絹本着色西天東土二十八祖像	山口市水の上町	洞春寺	S45.4.1
絵画	絹本淡彩中峰明本像 明本の自賛がある	山口市水の上町	洞春寺	S45.4.1
絵画	絹本着色仏涅槃図 付 納箱一合	山口市水の上町	洞春寺	S45.4.1
絵画	絹本着色大庵須益和尚像 永正八年辛未霜月十五日直心の賛がある	山口市香山町	瑠璃光寺(山口県立山口 博物館)	S45.4.1
絵画	絹本着色全岩東純和尚像 明応五稔丙辰十二月十七日為宗の賛がある	山口市香山町	瑠璃光寺(山口県立山口 博物館)	S45.4.1
絵画	絹本着色桃岳瑞見和尚像 永正二年孟冬念八瑞見の賛がある	山口市香山町	瑠璃光寺(山口県立山口 博物館)	S45.4.1
絵画	絹本着色仁保弘有像 寛正六年乙酉八月如意珠日天与清啓の賛 がある	山口市仁保下郷	源久寺	S46.1.12
絵画	紙本着色尼子経久像	山口市春日町	山口県(山口県立山口博 物館)	S49.11.8
絵画	絹本着色尼子晴久像	山口市春日町	山口県(山口県立山口博 物館)	S49.11.8
絵画	ガラス絵 泰西風景図・長崎港図 付 旧木造額縁(嘉永三年銘) 一面	山口市徳地島地	花尾八幡宮	H2.11.6
絵画	絹本墨画淡彩雪舟等楊像(雲谷等益筆)	山口市宮野下	常栄寺(山口県立美術館)	H3.12.10
彫刻	木造薬師如来坐像	山口市黒川	広沢寺	S41.6.10
彫刻	木造二天王立像	山口市黒川	広沢寺	S41.6.10
彫刻	木造千手観音菩薩坐像	山口市吉敷	龍蔵寺	S41.6.10
彫刻	木造薬師如来坐像	山口市陶	正護寺	S41.6.10
彫刻	木造阿弥陀如来坐像	山口市仁保下郷	源久寺	S41.6.10
彫刻	木造阿弥陀如来坐像	山口市仁保下郷	玄答院	S41.6.10
彫刻	木造聖観音菩薩立像	山口市大内御堀	下山根部落代表	S41.6.10
彫刻	木造聖観音菩薩立像	山口市徳地上村	月輪寺	S41.6.10
彫刻	能面	山口市秋穂西	正八幡宮(山口県立山口 博物館)	S41.6.10
彫刻	木造十一面観音菩薩立像	山口市朝倉町	大林寺	S44.2.4
彫刻	木造四天王立像	山口市徳地上村	月輪寺	S44.4.25
彫刻	塑像竜岡玄珠禪師坐像	山口市氷の上町	洞春寺	S52.11.11
彫刻	木造石屏子介禪師坐像	山口市水の上町	洞春寺	S52.11.11

彫刻	木造大内義弘坐像	山口市水の上町	洞春寺	S52.11.11
彫刻	木造大内盛見坐像	山口市水の上町	洞春寺	S52.11.11
彫刻	木造大内持盛坐像	山口市水の上町	洞春寺	S52.11.11
彫刻	木造金剛力士立像	山口市宮野下	清水寺	S56.3.24
彫刻	法光寺阿弥陀堂の仏像	山口市徳地鯖河内	法光寺	S61.10.24
彫刻	木造獅子狛犬	山口市吉田	平清水八幡宮	H12.3.31
彫刻	木造地藏菩薩立像	山口市仁保中郷	皇徳寺	H16.4.2
工芸品	鯛口 弘長元年辛酉六月の銘がある	山口市春日町	個人(山口県立山口博物館)	S55.4.11
工芸品	漆塗足付盤	山口市野田	個人	H13.3.30
工芸品	剣 宝剣拵 付 天文五年剣拵注文 一通	山口市大内御堀	興隆寺	H18.3.31
書跡	手鑑	山口市亀山町	山口市(山口市歴史民俗資料館)	S53.3.31
書跡	紺紙金泥法華経	山口市秋穂西	遍明院	S53.12.22
典籍	正法眼蔵八十三巻	山口市香山町	瑠璃光寺	S42.1.17
典籍	洞春寺開山嘯岳鼎虎禪師手沢本 付 洞春寺書簿	山口市水の上町	洞春寺	S52.11.11
典籍	聚分韻略(明応二年大内版)	山口市後河原	山口県(山口県立山口図書館)	H21.2.13
考古資料	見島ジーコンボ古墳群出土品	山口市春日町	山口県(山口県埋蔵文化財センター)	S54.3.31
考古資料	宮ヶ久保遺跡出土木製品	山口市春日町	山口県(山口県埋蔵文化財センター)	S58.9.27
考古資料	綾羅木郷台地遺跡出土の人面土製品	山口市春日町	山口県(山口県埋蔵文化財センター)	H3.4.5
考古資料	赤妻古墳出土の舟形石棺	山口市春日町	山口県(山口県立山口博物館)	H5.5.14
考古資料	茶臼山古墳出土品	山口市春日町	山口県(山口県立博物館)	H7.1.13
考古資料	分銅形土製品	山口市春日町	山口県(山口県埋蔵文化財センター)	H9.12.12
考古資料	武久浜墳墓群出土品	山口市春日町	山口県(山口県埋蔵文化財センター)	H15.12.19
考古資料	郡司铸造所跡の铸造関連出土品	山口市春日町	山口県(山口県埋蔵文化財センター)	H20.5.9
考古資料	銅印 印文「三川私印」	山口市春日町	山口県(山口県埋蔵文化財センター)	H27.3.6
歴史資料	紙本墨画淡彩乗福寺伽藍図	山口市春日町	乗福寺(山口市歴史民俗資料館)	H9.12.12
歴史資料	木造扁額「氷上山」	山口市大内御堀	興隆寺	H10.12.4
歴史資料	三重宝塔板木	山口市徳地八坂	妙寿院	H15.12.19
歴史資料	善光寺式阿弥陀三尊立像板木	山口市秋穂東	長徳寺	H15.12.19
歴史資料	吉田松陰関係資料(吉田家伝来)	山口市後河原	山口県(山口県文書館)	H21.11.17
歴史資料	紙本着色毛利敬親山口新御屋形入居奉祝図	山口市春日町	野田神社(山口県立山口博物館)	H29.5.9
絵画	絹本着色釈迦三尊像	萩市大字椿東	東光寺(山口県立美術館)	S53.12.22
彫刻	木造不動明王立像	萩市大字北古萩	長寿寺	S41.6.10
彫刻	木造釈迦如来坐像	萩市椿	大照院	S41.6.10
彫刻	木造毘沙門天立像	萩市川上	玉泉寺	S41.6.10
彫刻	木造文殊菩薩騎獅像	萩市大字紫福	仏光寺	S42.7.4
彫刻	木造義翁和尚倚像	萩市椿	大照院	S53.12.22
書跡	木額・柱聯・榜牌・同下書	萩市大字椿東	東光寺	S48.3.30

書跡	三祖師号	萩市大字椿東	東光寺	S48.3.30
書跡	石屏子介禪師墨跡	萩市大字椿東	龍藏寺(萩博物館)	S50.3.22
考古資料	見島ジークンボ古墳群出土品	萩市大字堀内	萩市(萩博物館)	S54.3.31
考古資料	円光寺古墳出土品	萩市大字堀内	萩市(萩博物館)	H4.5.29
歴史資料	吉田松陰関係資料(松陰神社伝来)	萩市大字椿東	松陰神社	H24.12.7
絵画	絹本着色熊野本地仏曼荼羅図 付 納箱 一合	防府市国分寺町	国分寺	H15.12.19
絵画	絹本着色仏涅槃図	防府市国分寺町	国分寺	H30.3.2
彫刻	木造阿弥陀如来立像	防府市国分寺町	国分寺	S41.6.10
彫刻	金銅誕生釈迦仏立像	防府市国分寺町	国分寺	H1.3.28
彫刻	金銅毘盧舎那仏坐像(寺伝大日如来像)	防府市国分寺町	国分寺(山口県立美術館)	H1.3.28
工芸品	漆絵枝菊椀(大内椀)	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S59.4.10
工芸品	金装飾太刀拵	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S59.4.10
典籍	毛利元就詠草連歌	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S59.4.10
典籍	里村紹巴筆連歌学書(毛利家伝来本)	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S59.4.10
典籍	幸若流舞之本(毛利吉就所持本)	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S59.4.10
典籍	版本大般若経	防府市大字牟礼	阿弥陀寺	H6.1.25
古文書	阿弥陀寺文書	防府市大字牟礼	阿弥陀寺	S46.3.30
古文書	周防国分寺文書	防府市国分寺町	国分寺	S53.3.31
古文書	防府天満宮文書 一、防府天満宮文書 二、大小行司職等差定文書(御当文)	防府市松崎町	防府天満宮	S53.12.22
古文書	兄部家文書 付 酒舗看板 一枚	防府市宮市町	個人	S56.3.24
考古資料	井上山経塚出土品	防府市多々良一丁目	防府市・個人	H1.10.24
歴史資料	毛利元就関係資料	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S59.4.10
歴史資料	毛利隆元関係資料	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S59.4.10
歴史資料	毛利輝元関係資料	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S59.4.10
歴史資料	毛利秀就関係資料	防府市多々良一丁目	公益財団法人毛利報公会	S59.4.10
絵画	星宿図(寺伝須弥山図)	下松市大字生野屋宮本	多聞院	S52.3.29
彫刻	金銅如意輪観音菩薩半跏像	下松市大字末武上	日天寺	S41.6.10
絵画	絹本着色十六善神像 付 納箱 一合 転読大般若経奏文 一帖 文安五年十一月日の箱書及び享和二 成九月の修復銘がある	岩国市美和町瀬戸内	瀬戸の内部落(岩国市)	S44.2.4
絵画	絹本着色釈迦十六善神像 付 納箱(正徳元年六月廿一日銘) 一合 六月廿二日今田助之進他二名連署寄 進状 一通	岩国市周東町用田	極楽寺(山口県立山口博 物館)	S60.10.29
絵画	絹本着色仏国国師像 霊山道隱の賛がある 付 絹本着色仏国国師像 一幅 隠元隆琦の賛がある	岩国市横山二丁目	岩国市(岩国徴古館)	S62.10.27
絵画	紙本墨画淡彩湖亭春望図 天與清啓の賛がある	岩国市横山二丁目	公益財団法人吉川報效会	H8.5.24
彫刻	木造薬師如来立像	岩国市本郷町本郷	建立寺	S41.6.10
彫刻	木造不動明王立像	岩国市周東町大字用田	極楽寺	S41.6.10

彫刻	金銅如来形坐像(寺伝釈迦如来像)	岩国市横山一丁目	洞泉寺	H10.12.4
工芸品	銅鐘	岩国市周東町大字用田	極楽寺	S41.6.10
工芸品	藍韋威肩白紅胴丸	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S42.7.4
工芸品	色々威胴丸 広袖付	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S42.7.4
工芸品	小桜韋威胴丸 兜・大袖・替袖・頬当・喉輪・脛当付	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S42.7.4
工芸品	紺糸威肩紅腹巻 付 大袖	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S42.7.4
工芸品	藍韋威肩壺紅腹巻	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S42.7.4
工芸品	黒漆矢筈札浅葱糸素懸威腹当	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S42.7.4
工芸品	鉄錆地三十六間星兜鉢	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S42.7.4
工芸品	鉄錆地二十八間総覆輪筋兜鉢	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S42.7.4
工芸品	鉄黒漆二十二間総覆輪筋兜鉢葱糸素懸威し ころ	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S42.7.4
工芸品	鉄黒漆三十四間総覆輪筋兜鉢	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S42.7.4
工芸品	鉄錆地十二間総覆輪筋兜鉢	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S42.7.4
工芸品	鉄錆地六十四間筋兜鉢	岩国市横山二丁目	公益財団法人岩国美術館	S42.7.4
工芸品	宇佐の鉄燈籠	岩国市錦町大字宇佐	宇佐八幡宮	S51.3.16
工芸品	生見の鉄燈籠	岩国市美和町大字生見	個人	S51.3.16
典籍	大内版三重韻	岩国市横山二丁目	岩国市(岩国徴古館)	S51.11.24
典籍	大般若經 卷第八十二養和元年八月八日朱筆校合 奥書 付 唐櫃	岩国市美和町大字生見字中 村	中村区	H7.1.13
歴史資料	木造扁額「八幡宮」(独立性易筆)	岩国市玖珂町	岩隈八幡宮	H14.12.3
歴史資料	般若心経並びに神馬図板木	岩国市錦町広瀬	個人	H16.4.2
彫刻	木造阿弥陀如来坐像	光市大字東荷	光市(伊藤公資料館)	S57.4.16
彫刻	金銅一光三尊立像	長門市大字仙崎	極楽寺	S41.6.10
彫刻	木造聖観音菩薩立像	長門市大字俵山	能満寺	S41.6.10
彫刻	金銅薬師如来立像	長門市大字俵山	俵山温泉合名会社	S60.10.29
彫刻	木造四天王立像	長門市油谷向津具下	二尊院	H27.12.18
古文書	日置八幡宮文書 付・棟札 四枚 紙本着色八幡縁起絵巻 二巻	長門市日置上	日置八幡宮	S57.4.16
考古資料	塚塚横穴墓群出土品	長門市大字東深川	長門市(長門中央公民館)	H6.1.25
歴史資料	利生山永福寺跡石塔婆	長門市日置中	利生山代表惣代(長門市)	H1.3.28
彫刻	木造不動明王坐像	柳井市大字阿月	無動寺	S41.6.10
彫刻	木造薬師如来坐像	柳井市大字平郡	浄光寺	S41.6.10
彫刻	木造二天王立像	柳井市大字余田	福楽寺	S56.12.11
彫刻	木造二天王立像	柳井市大字余田	福楽寺	S56.12.11
工芸品	罎口 観応二年辛卯八月廿三日の銘がある	柳井市大字余田	福楽寺	S55.4.11
考古資料	茶臼山古墳出土品	柳井市南町・柳井	柳井市(茶臼山古墳資料館)	H7.1.13
彫刻	塑像寿円禅師坐像	美祿市秋芳町大字秋吉	自住寺	S42.1.17
歴史資料	長登銅山跡出土木簡	美祿市美東町大字大田	美祿市	H13.9.14

彫刻	金造菩薩形坐像 付 日尾山土中出现黄金像正観音縁記 一卷 日尾山山頂黄金像出土地石碑 一基	周南市大字湯野	楞嚴寺	S62.3.27
工芸品	金梨子地菊桐紋散雲蒔絵鞍・鏡	周南市大字徳山	個人	H2.3.30
工芸品	建咲院什物(寺伝毛利元就寄進)	周南市土井一丁目	建咲院	H16.12.10
彫刻	木造千手観音菩薩立像	山陽小野田市大字有帆	岩崎寺	S58.4.5
彫刻	木造釈迦如来坐像	山陽小野田市大字有帆	岩崎寺	S58.4.5
彫刻	木造阿弥陀如来坐像	山陽小野田市大字有帆	岩崎寺	S58.4.5
彫刻	木造大日如来坐像	山陽小野田市大字有帆	岩崎寺	S58.4.5
彫刻	木造阿弥陀如来坐像	山陽小野田市大字有帆	岩崎寺	S58.4.5
彫刻	木造不動明王立像	山陽小野田市大字有帆	岩崎寺	S58.4.5
彫刻	木造聖観音菩薩立像	山陽小野田市大字有帆	岩崎寺	S58.4.5
彫刻	木造十一面観音菩薩立像	山陽小野田市大字山川	正法寺	S60.4.16
工芸品	銅鐘	山陽小野田市大字山川	正法寺	S41.6.10
考古資料	長光寺山古墳出土品	山陽小野田市大字鴨ノ庄	山陽小野田市・西下津地区(山陽小野田市立厚狭)	S51.3.16
考古資料	物見山経塚出土品	山陽小野田市大字鴨ノ庄	山陽小野田市(山陽小野田市立厚狭図書館)	H1.10.24
考古資料	妙徳寺一号経塚出土品	山陽小野田市大字鴨ノ庄	山陽小野田市(山陽小野田市立厚狭図書館)	H3.12.10
考古資料	妙徳寺山古墳出土品	山陽小野田市大字鴨ノ庄	山陽小野田市(山陽小野田市立厚狭図書館)	H12.12.15
彫刻	木造二天王立像	周防大島町大字東三蒲	松尾寺	S41.6.10
彫刻	木造地藏菩薩坐像	田布施町大字上田布施	蓮華寺	S57.11.5
考古資料	国森古墳出土品	田布施町下田布施	田布施町(田布施町郷土館)	S63.11.25
彫刻	木造地藏菩薩坐像	平生町大字大野南	神護寺	S41.6.10
工芸品	銅鐘	平生町大字宇佐木	般若寺	S51.3.16
工芸品	銅鐘	平生町大字大野南	神護寺	S51.3.16
考古資料	白鳥古墳出土品	平生町大字佐賀	白鳥神社	S56.3.24
考古資料	御山神社経塚出土品	阿武町大字惣郷	御山神社(山口県立山口博物館)	S49.11.8

無形文化財

種別	指定年月日	保持者	居住地	認定年月日
鶯流狂言	S42.1.17	米本文明	山口市	H14.3.26
萩焼	S47.6.6	大和保男	山口市	S63.11.25
		大和祐二	山口市	H30.9.11
		野坂康起	萩市	H14.3.26
		波多野善蔵	萩市	H14.3.26
		岡田裕	萩市	H18.3.31
		坂田正治	長門市	H25.8.16
		新庄貞嗣	長門市	H30.9.11
赤間硯	H14.3.26	堀尾信夫	下関市	H14.3.26
		日枝敏夫	宇部市	H30.9.11

有形民俗文化財

名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
芦河内薬師堂	宇部市大字芦河内	芦河内部落(宇部市)	S62.10.27
長門市向岸寺の鯨位牌及び鯨鯢過去帖	長門市通	向岸寺	S50.3.22
小田家の生活用具・商家資料・町家	柳井市大字柳井津	公益財団法人小田博物館 (商家資料:山口県文書館)	S54.3.31
美東町佐山の山神枡	美祢市美東町大字赤	佐山区	H4.5.29
長登の岩絵具製造用具および製品	美祢市美東町大字長登	個人(長登銅山文化交流館)	H6.1.25
伊佐の売薬用具及び売薬関係史料	美祢市大嶺東分	美祢市(美祢市立図書館)	H11.4.6
庄地のスイドウ	周防大島町大字久賀	個人	S47.5.12
土手町南蛮樋	平生町大字平生字土手町	平生町	H2.11.6

無形民俗文化財

名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
浜出祭	下関市	浜出祭文化財保存会	S51.11.24
忌宮神社の数方庭行事	下関市	数方庭保存会	S59.11.2
岩戸神楽舞	宇部市	岩戸神楽舞保存顕彰会	S51.3.16
小鯖代神楽舞	山口市	小鯖代神楽舞保存会	S51.3.16
鷺の舞	山口市	鷺の舞保存会	S51.3.16
陶の腰輪踊	山口市	陶腰輪踊保存会	S51.3.16
徳地人形浄瑠璃	山口市	徳地人形浄瑠璃保存会	S51.3.16
住吉神社「お船謡」	萩市	住吉神社お船謡保存会	S51.3.16
上三原の田植ばやし	萩市	上三原の田植ばやし保存会	S51.3.16
友信神楽舞	萩市	友信神楽保存会	H3.4.5
玉祖神社の占手神事	防府市	占手神事保存会	S51.11.24
切山歌舞伎	下松市	切山歌舞伎保存会	S51.3.16
岩国南条踊	岩国市	岩国南条踊保存会	S51.3.16
山代本谷神楽舞	岩国市	山代本谷神楽舞保存会	S51.3.16
山代白羽神楽	岩国市	山代白羽神楽保存会	S51.3.16
由宇町清水の山ノ神祭り	岩国市	山の神祭保存会	H3.4.5
島田人形浄瑠璃芝居	光市	島田人形浄瑠璃芝居保存会	S51.3.16
湯本南条踊	長門市	湯本南条踊保存会	S51.3.16
赤崎神社楽踊	長門市	赤崎神社楽踊保存会	S51.3.16
俵山女歌舞伎	長門市	俵山女歌舞伎保存会	S51.3.16
滝坂神楽舞	長門市	滝坂神楽舞保存会	S51.11.24
三隅の腰輪踊	長門市	三隅町腰輪踊保存会	S52.3.29
北浦地方のサバー送り	長門市	サバー送り保存会	H21.4.14
別府念仏踊	美祢市	別府念仏踊保存会	S51.3.16

別府岩戸神楽舞	美祢市	別府岩戸神楽舞保存会	S61.4.8
式内踊	周南市	式内踊保存会	S51.3.16
長穂念仏踊	周南市	長穂念仏踊保存会	S51.3.16
諫鼓踊	周南市	勝間諫鼓踊保存会	S51.3.16
花笠踊	周南市	花笠踊保存顕彰会	S51.3.16
周南市安田の糸あやつり人形芝居	周南市	周南市安田の糸あやつり人形芝居保存会	S51.3.16
山崎八幡宮の本山神事	周南市	山崎八幡宮本山神事保存会	H22.5.18
久賀のなむでん踊	周防大島町大字久賀	久賀なむでん踊保存会	S51.3.16
祝島の神舞神事	上関町	祝島神舞神事保存会	S51.11.24
大波野神舞	田布施町	大波野神舞保存会	H12.12.15

史跡・名勝・天然記念物

種別	名称	所在地	所有者(管理者・管理団体)	指定年月日
史跡	中ノ浜遺跡	下関市豊浦町大字川棚字中ノ浜	個人(下関市)	S50.3.22
史跡	黒井一ノ瀬一里塚	下関市豊浦町大字黒井	個人	H15.4.4
史跡	長府藩主毛利家墓所	下関市長府川端、下関市大字豊浦村、下関市長府安養寺	功山寺、笑山寺、覚苑寺、個人(下関市)	H26.12.2
天然記念物	法林寺のソテツ	下関市大字吉母字印内	法林寺	S41.6.10
天然記念物	長門国一の宮住吉神社社叢	下関市大字楠乃字上宮尻	住吉神社	S41.6.10
天然記念物	長府正円寺の大イチョウ	下関市長府中之町	正円寺(下関市)	S44.2.4
天然記念物	川棚三恵寺のモッコク	下関市豊浦町大字川棚	三恵寺(下関市)	S44.4.25
天然記念物	滝部のシダレザクラ	下関市豊北町大字滝部	個人(下関市)	S52.11.11
天然記念物	滝部八幡宮のイチイガシ	下関市豊北町大字滝部	滝部八幡宮(下関市)	S52.11.11
天然記念物	阿川八幡宮のイヌマキ巨樹群	下関市豊北町大字阿川	阿川八幡宮(下関市)	S53.3.31
天然記念物	蓋井島のヒゼンマユミ群落	下関市大字蓋井島字笠松	個人	S57.11.5
史跡	霜降城跡	宇部市大字吉見ほか	個人(宇部市)	S42.7.4
史跡	荒滝山城跡	宇部市大字東吉部字城山前平・字城山北平・字城山東	宇部市	H20.1.11
天然記念物	熊野神社のツルマンリョウ自生地	宇部市大字山中字上市	熊野神社	S41.6.10
天然記念物	教善寺のサザンカ	宇部市大字西万倉	教善寺	H25.2.5
史跡	百谷窯跡	山口市小郡下郷百谷	山口市・東津地区(山口市)	S53.3.31
史跡	大内氷上古墳	山口市御堀字山根	役行者講中代表	S61.4.8
名勝	善生寺庭園	山口市上宇野字周慶寺	善生寺	H18.4.6
天然記念物	妙見社の大イチョウ	山口市徳地八坂字上寺前	個人	S41.6.10
天然記念物	山口市檜畑のノバナショウブ自生地	山口市下小鯖	山口市	S44.2.4
天然記念物	秋穂二島のアラカシ	山口市秋穂二島	栄泰寺	S51.11.24
天然記念物	舟山八幡宮のチシャノキ	山口市仁保下郷	舟山八幡宮	S52.11.11
天然記念物	仁保のクワ	山口市仁保中郷	山口県	S54.3.31
天然記念物	正福寺のイブキ	山口市駅通り二丁目	正福寺	S59.11.2

天然記念物	常栄寺のモリアオガエル繁殖地	山口市宮野下	常栄寺	H13.3.30
史跡	萩焼古窯跡群	萩市大字椿東字中之倉	個人	S56.12.11
史跡	須佐唐津古窯跡群	萩市須佐字唐津	萩市	S59.11.2
史跡	穴観音古墳	萩市高佐下	禅林寺・個人	S60.10.29
史跡	奥阿武宰判勘場跡	萩市吉部上	萩市	H15.4.4
天然記念物	河内の大ムク	萩市大字椿	個人	S41.6.10
天然記念物	吉部八幡宮のスギ	萩市大字吉部	吉部八幡宮	S53.12.22
天然記念物	三見吉広のバクチノキ	萩市大字三見吉広	個人	S55.12.5
天然記念物	志都岐山神社のミドリヨシノ	萩市大字堀内	志都岐山神社	S56.3.24
天然記念物	田万川の柱状節理と水中自破碎溶岩	萩市大字上小川東分字川平・柳島・なめら	萩市	H10.4.14
天然記念物	辻山のシダレザクラ	萩市大字高佐山上字太郎田	個人(萩市)	H11.4.6
史跡	防府天満宮大専坊跡	防府市松崎町	防府天満宮	S62.10.27
史跡	野村望東尼終焉の宅跡及び墓	防府市三田尻本町・桑山	個人・防府市	H26.12.2
天然記念物	防府市中浦の緑色片岩	防府市大字田島	(防府市)	S45.2.27
天然記念物	老松神社のクスノキ	防府市お茶屋町	老松神社	S52.11.11
天然記念物	若月家の臥竜松	防府市大字大崎	個人	H2.3.30
天然記念物	防府市向島の寒桜	防府市向島	防府市	H23.4.8
史跡	岩国藩主吉川家墓所	岩国市横山一丁目	岩国市	S63.3.29
史跡	中ノ川山一里塚	岩国市美和町大字秋掛中の川	個人(岩国市)	H14.12.3
名勝	寂地峡	岩国市錦町大字字佐	(岩国市)	S41.6.10
名勝	弥栄峡	岩国市美和町大字字佐地	(岩国市)	S41.6.10
名勝	松巖院庭園	岩国市藤生町	松巖院	H7.12.19
天然記念物	岩国市二鹿のシャクナゲ群生地	岩国市大字二鹿字治郎迫	個人	S46.1.12
天然記念物	大原のシャクナゲ群生地	岩国市錦町大字大原生し畑・字小麦山	岩国市・個人(岩国市)	S52.3.29
天然記念物	宇佐八幡宮のスギ巨樹群	岩国市錦町大字字佐	宇佐八幡宮	S53.3.31
天然記念物	通津のイヌマキ巨樹	岩国市通津	鉢八幡宮	S54.12.14
天然記念物	岩国市楠町一丁目のクスノキ巨樹群	岩国市楠町一丁目	国土交通省	H26.12.2
名勝	普賢寺庭園	光市室積八丁目	普賢寺	H6.5.2
天然記念物	光のクサフグ産卵地	光市大字室積村字普賢山	(光市)	S44.2.4
天然記念物	牛島のモクゲンジ群生地	光市牛島	個人	H10.4.14
史跡	大内義隆主従の墓所	長門市大字深川湯本	大寧寺	S42.7.4
史跡	日置峠山の須恵器窯跡	長門市日置下	(長門市)	S44.2.4
史跡	大寧寺境内	長門市大字深川湯本	大寧寺	S54.2.6
史跡	萩焼深川古窯跡群	長門市深川湯本字三ノ瀬・同西三ノ瀬	長門市ほか(長門市)	H17.9.9
天然記念物	西円寺のアオバス	長門市大字仙崎	西円寺	S41.6.10
天然記念物	二位の浜ハマオモト群落	長門市日置上字西ヶ浴	長門市	S41.6.10
天然記念物	日吉神社のオガタマノキ巨樹群	長門市油谷角山	日吉神社	S41.6.10

天然記念物	青海島八王子山タチバナ自生北限地	長門市大字仙崎字大泊	長門市	S42.1.17
天然記念物	八幡人丸神社御旅所のヒノキ巨樹	長門市油谷新別名	八幡人丸神社(長門市)	S44.12.5
天然記念物	長門市一位ガ岳のベニドウダン自生地	長門市大字倭山字一位岳	長門市	S46.1.12
史跡	末原窯跡群	美祢市美東町大字赤字北ヶ迫	美祢市	S55.4.11
天然記念物	神功皇后神社のイチイガシ	美祢市西厚保町本郷	神功皇后神社	S53.12.22
史跡	潮音洞	周南市大字鹿野上字鏡池	漢陽寺	S41.6.10
史跡	若山城跡	周南市大字夜市	(周南市)	S62.3.27
史跡	勝栄寺土塁及び旧境内	周南市中央町	周南市・勝栄寺	S62.3.27
天然記念物	秘密尾の氷見神社社叢	周南市大字須万字宮の前・字奥山	氷見神社	S47.5.12
天然記念物	須万風呂ヶ原のエノキ	周南市大字須万	個人	S55.12.5
史跡	小野田セメント徳利窯	山陽小野田市大字小野田	株式会社太平洋セメント(山陽小野田市)	S44.2.4
史跡	長光寺山古墳	山陽小野田市大字郡字弥ヶ迫	個人	H3.4.5
天然記念物	竜王山のハマセンダン	山陽小野田市大字小野田字高田尾及び字小浜	宇部フィルム株式会社、個人	H30.3.2
天然記念物	水無瀬島のアコウ自生地帯	周防大島町大字沖家室島	(周防大島町)	S41.6.10
天然記念物	常満寺の大イチョウ	上関町大字室津	常満寺	S41.6.10
天然記念物	祝島のケグワ	上関町大字祝島字小田	個人	S41.6.10
天然記念物	八島与崎のカシワ・ビャクシン群落	上関町大字八島字出崎・字古浦	八島地区・八島神社	H15.4.4
史跡	後井古墳	田布施町大字宿井字後井	(田布施町)	S53.3.31
史跡	国森古墳	田布施町大字川西下大力・字国森	個人(田布施町)	S63.11.25
天然記念物	宿井のハゼノキ	田布施町大字宿井字橋ヶ下	個人	H18.4.6
史跡	白鳥古墳 付 陪塚及び周濠	平生町大字佐賀字森の下上	白鳥神社(平生町)	S46.1.12
史跡	岩田遺跡	平生町大字佐賀字森の下上	平生町・個人	S49.11.8
史跡	神花山古墳	平生町大字佐賀字森の下上	平生町	S57.11.5
史跡	御山神社経塚	阿武町大字惣郷	御山神社(阿武町)	S49.11.8
天然記念物	大覚寺のビャクシン巨樹	阿武町大字奈古字東光寺	大覚寺	S41.6.10
天然記念物	鶴ヶ嶺八幡宮のクスノキ	阿武町大字奈古	鶴ヶ嶺八幡宮	S53.12.22
天然記念物	姫島樹林	阿武町大字宇田	山口県漁業協同組合	S56.12.11

2 県内に所在する国・県・市町指定の無形文化財及び無形民俗文化財に係る調査報告書(抄)

(1) 現況調査概要

本現況調査は、文化財の保存・活用に関する総合的な施策の大綱策定に当たっての基礎資料とするため、山口県内における国・県・市町指定の無形文化財(芸能)及び無形民俗文化財保存団体について、現在の状況(会員の年齢構成、財務状況、活動内容等)や中長期の展望、意識等を総合的に把握しようとしたものである。

調査は、集計・分析等を、一般財団法人山口県経済研究所に委託して実施した。

現況把握の手法としては、各文化財団体に調査票を送り、それに回答していただくアンケート形式をとった。アンケート実施時期は2019年10月。県内にある99の指定文化財すべてに配布。79の指定文化財から回答があった(回収率80%)。なお、1つの指定文化財について複数の保存団体が存在するケースがあり、実際に回収したサンプル数(回答団体数)は83となっている。また99の指定文化財のうち、活動休止中のため回答が得られない先が7先あった。それらを除いた92文化財をベースに回収率を求めると、86%となる。(下表は該当文化財の一覧。「掲載ページ」欄は、本報告書における回収調査票の内容が掲載されているページ)

山口県内の指定無形文化財(芸能)、指定無形民俗文化財一覧

指定	行事	場所	掲載ページ	指定	行事	場所	掲載ページ
国	岩国行波の神舞	岩国市	2	市町	神田大川のみかがみ祭り	下関市	47
国	周防祖生の柱松行事	岩国市	3	市町	岡田屋百手神事	宇部市	48
国	三作神楽	周南市	4	市町	居能盆踊り	宇部市	49
国	阿月の神明祭	柳井市	5	市町	丸尾十七夜管弦祭	宇部市	(未回答)
国	地福のトイトイ	山口市	6	市町	須川の山固め神事	山口市	50
県	鷺流狂言	山口市	7	市町	岩戸神楽	山口市	51
県	山代白羽神楽	岩国市	8	市町	十二の舞	山口市	52
県	島田人形浄瑠璃芝居	光市	9	市町	須賀社の厄神舞	山口市	53
県	花笠踊り	周南市	10	市町	生雲八幡宮奴道中	山口市	54
県	住吉神社「お船謡」	萩市	11	市町	蹴出し踊り	山口市	55
県	岩国南条踊	岩国市	12	市町	中河内注連縄打ち	山口市	56
県	横山女歌舞伎	長門市	13	市町	土居神楽舞	山口市	57
県	湯本南条踊	長門市	14	市町	木間「神代の舞」	萩市	58
県	徳地人形浄瑠璃	山口市	15	市町	玉江浦「天狗拍子」	萩市	59
県	周南市安田の糸あやつり人形芝居	周南市	16	市町	越ヶ浜「大綱声」	萩市	(未回答)
県	小鱈代神楽舞	山口市	17	市町	越ヶ浜「巫女の舞」	萩市	(未回答)
県	鷺の舞	山口市	18	市町	笹尾義民おどり	萩市	(活動休止中)
県	切山歌舞伎	下松市	19	市町	遠谷神楽舞	萩市	(活動休止中)
県	式内踊	周南市	(活動休止中)	市町	中ノ原的まつり	萩市	60
県	談話踊	周南市	20	市町	大江後神楽舞	萩市	61
県	別府念仏踊	美祿市	21	市町	下領神楽舞(神笑座)	萩市	(活動休止中)
県	久賀のなむでん踊	周防大島町	22	市町	野田の柱松	萩市	(未回答)
県	長穂念仏踊	周南市	(未回答)	市町	笑い譚(神事)	防府市	62
県	浜出祭	下関市	23,24	市町	民謡 浜子うた	防府市	63
県	岩戸神楽舞	宇部市	25	市町	宇佐八幡宮の腰輪踊	防府市	64
県	陶の腰輪踊	山口市	26	市町	下の神楽	岩国市	65
県	山代本谷神楽舞	岩国市	27	市町	釜ヶ原神楽	岩国市	(未回答)
県	赤崎神社神楽	長門市	28	市町	生見中村ねんぶつ行事	岩国市	66
県	滝坂神楽舞	長門市	29	市町	長野神楽舞	岩国市	(未回答)
県	上三原の田植ばやし	萩市	30	市町	笠塚神楽	岩国市	67
県	三隅の腰輪踊	長門市	31,32,33,34	市町	谷津神楽舞	岩国市	68
県	玉祖神社の占手神事	防府市	35	市町	向峠神楽	岩国市	69
県	忌宮神社の数方庭行事	下関市	36	市町	上沼田神楽	岩国市	70
県	別府岩戸神楽舞	美祿市	37	市町	周防猿まわし	光市	71
県	祝島の神舞神事	上関町	38	市町	通鯨唄	長門市	72
県	友信神楽舞	萩市	39	市町	川尻鯨唄	長門市	(活動休止中)
県	由宇町清水の山ノ神祭り	岩国市	(未回答)	市町	大内山楽踊	長門市	73
県	大波野神舞	田布施町	40	市町	瀬お船謡	長門市	74
県	北浦地方のサバ一送り	長門市	41	市町	瀬戸崎組鯨唄	長門市	75
県	山崎八幡宮の本山神事	周南市	42	市町	伊陸糸あやつり人形芝居	柳井市	76
市町	龜山八幡宮「龜山能」	下関市	(未回答)	市町	伊陸南山神社の神楽	柳井市	77
市町	先帝祭	下関市	43	市町	大日「岩戸の舞」	美祿市	78
市町	蓋井島「山ノ神」神事	下関市	44	市町	柏木岩戸王子の舞	美祿市	79
市町	彦島八幡宮「サイ上り」神事	下関市	45	市町	江原の森祭り	美祿市	80
市町	「内日五年神」神事	下関市	46	市町	新畑神舞	周南市	(未回答)
市町	赤崎神社神楽	下関市	(未回答)	市町	須々万八朝祭り	周南市	81
市町	岩戸神楽の舞	下関市	(未回答)	市町	古式行事	山陰小野田市	82
市町	滝部八幡宮の腰輪踊	下関市	(未回答)	市町	日見岩戸神舞	周防大島町	83
市町	附野薬師流灌頂	下関市	(復活調整中)	市町	疫神社の厄払いの祭礼	和木町	84
市町	阿川河内のカンコ踊り	下関市	(活動休止中)				

(2) 現況調査結果の分析

以下では、各団体の現況内容を、統計的に集計し、分析した。

① 全体の概要

□ 団体の年齢構成

団体の年齢構成を、団体ごとの年齢構成比の平均値でみると、下表のようになる。幼児、小・中学生も一定程度の構成比を占めているが、最も多いのは 60 歳台であり、続いて多いのが 70 歳台である。

団体メンバーの
平均年齢構成比

	%
幼小中生	13.0
高校生	1.6
20歳台	3.8
30歳台	8.6
40歳台	11.3
50歳台	12.2
60歳台	25.3
70歳台	18.5
80歳以上	5.6
合計	100.0

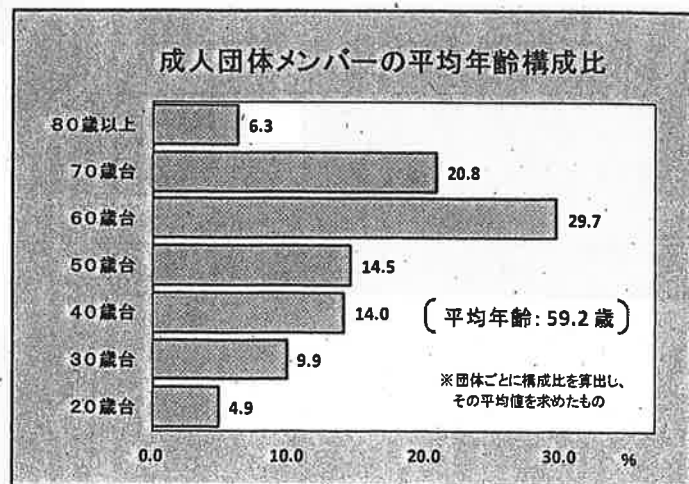
※ 団体ごとに構成比を算出し、その平均値を求めたもの（団体による規模の違いの影響を排除）

また、未成年のメンバーを除いて、20 歳以上に限定して同様に構成比を求めると、下図、下表のようになる。60 歳台、70 歳台が中心であり、若年層が薄い。平均年齢を算出（各年代の中位年齢、例えば 20 歳台は 25 歳として計算）すると、59.2 歳と、60 歳目前となっている。

成人団体メンバーの
平均年齢構成比率

	%
20歳台	4.9
30歳台	9.9
40歳台	14.0
50歳台	14.5
60歳台	29.7
70歳台	20.8
80歳以上	6.3
合計	100.0

※ 団体ごとに構成比を算出し、その平均値を求めたもの（団体による規模の違いの影響を排除）



この現状の年齢構成に対して、10年後の年齢構成比を推計(各年代がそのまま10歳上の年代にスライド。ただし、現在の80歳以上は10年後には全員退出し、10年後の20歳台は現在の20歳台人数と同数が占めると仮定)すると、下表、下図のようになる。

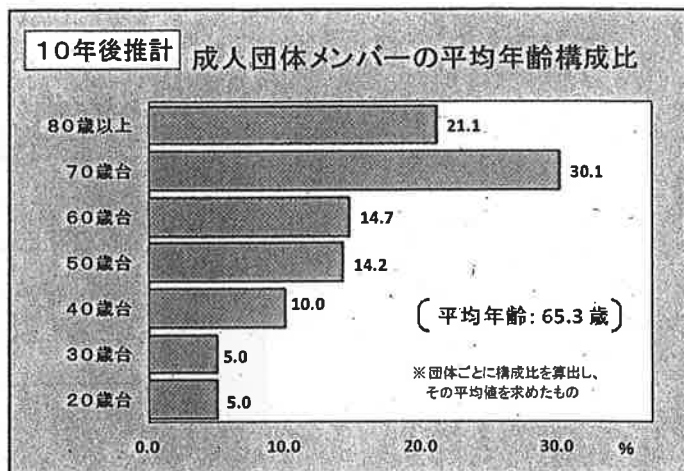
70歳台が3割を占めており、80歳以上と合わせて70歳以上で括ると、51%と5割を超える。

また、10年後の平均年齢を算出すると、現在の59.2歳が、65.3歳と、いわゆる「高齢者」の年齢となる。

成人団体メンバーの
10年後平均年齢構成比率

	%
20歳台	5.0
30歳台	5.0
40歳台	10.0
50歳台	14.2
60歳台	14.7
70歳台	30.1
80歳以上	21.1
合計	100.0

※現在の人数がそのまま10歳スライドすると仮定。なお、現在の80歳以上については10年後全員メンバーから退出するとし、10年後の20歳台については、現在の20歳台の人数と同数人数が占めると仮定。

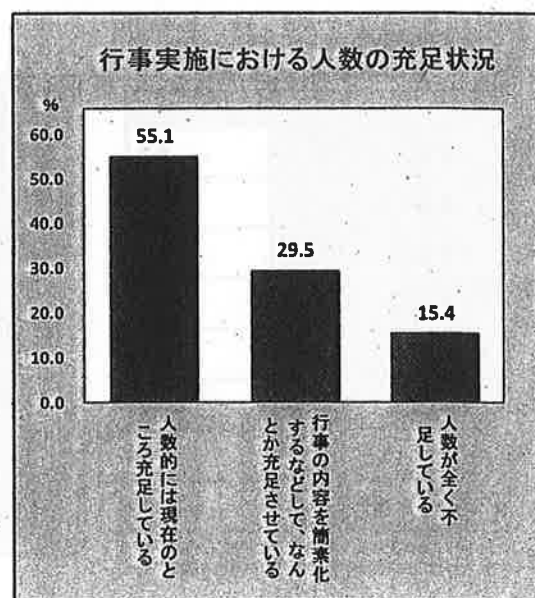


□ 行事実施における人数の充足状況

行事は人数的な面では問題なく実施できているかについては、下表、下図のようになった。55%と半数強が「現在のところ充足している」としているが、一方で「人数が全く不足している」との回答も15%を占めた。

行事実施における人数の充足状況

	n	%
人数的には現在のところ充足している	43	55.1
行事の内容を簡素化するなどして、なんとか充足させている	23	29.5
人数が全く不足している	12	15.4
(無回答)	(5)	-
回答合計	78	100.0



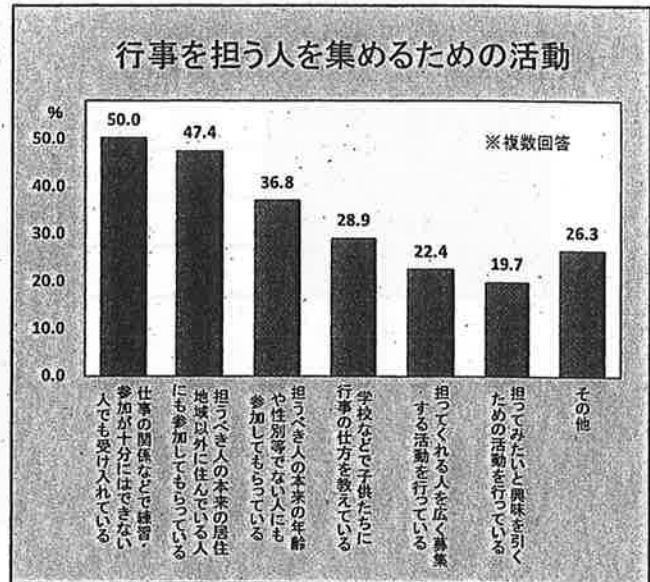
□ 行事を担う人を集めるための活動状況

行事を担う人を集めるための活動について(複数回答)は、下表、下図のようになった。

「担うべき人の本来の居住地以外に住んでいる人にも参加してもらっている」が47%とほぼ半数に達している。また、「担ってくれる人を広く募集する活動を行っている」との回答が22%と、2割を超えている。

行事を担う人を集めるための活動 【複数回答】

	n	%
仕事の関係などで練習・参加が十分にはできない人も受け入れている	38	50.0
担うべき人の本来の居住地以外に住んでいる人にも参加してもらっている	36	47.4
担うべき人の本来の年齢や性別等でない人にも参加してもらっている	28	36.8
学校などで子供たちに行事の仕方を教えている	22	28.9
担ってくれる人を広く募集する活動を行っている	17	22.4
担ってみたいと興味を引くための活動を行っている	15	19.7
その他	20	26.3
(無回答)	(7)	-
回答合計	76	231.6



□ 本来の行事の開催頻度

本来の行事について、その行事名と頻度を尋ねている。これをみると、数年に1度しか開催しない行事をメインとしているところでも、それとは別に毎年何らかの形で本来行事を行っているところが少なくなかった。その結果、毎年は本来行事を開催していない団体は全体の17%に留まっている。

本来の行事の開催頻度

	n	%
1年に1度以上は開催している	65	83.3
毎年は開催していない	13	16.7
(無回答)	(5)	-
回答合計	78	100.0

※ 各団体の本来行事の開催状況についての記述内容を、頻度の切り口から集計したもの

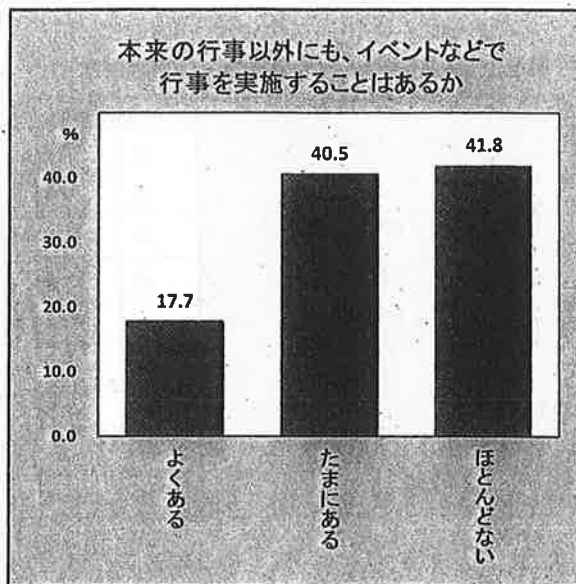
□ 本来行事以外に行事を披露することについて

本来の行事以外に、例えばイベントなどで披露するために行事を実施することがあるか尋ねたところ、下表、下図のようになった。

「よくある」は18%で、「ほとんどない」どの回答が42%と4割以上を占めている。

本来の行事以外にも、イベントなどで行事を実施することはあるか

	n	%
よくある	14	17.7
たまにある	32	40.5
ほとんどない	33	41.8
(無回答)	(4)	-
回答合計	79	100.0

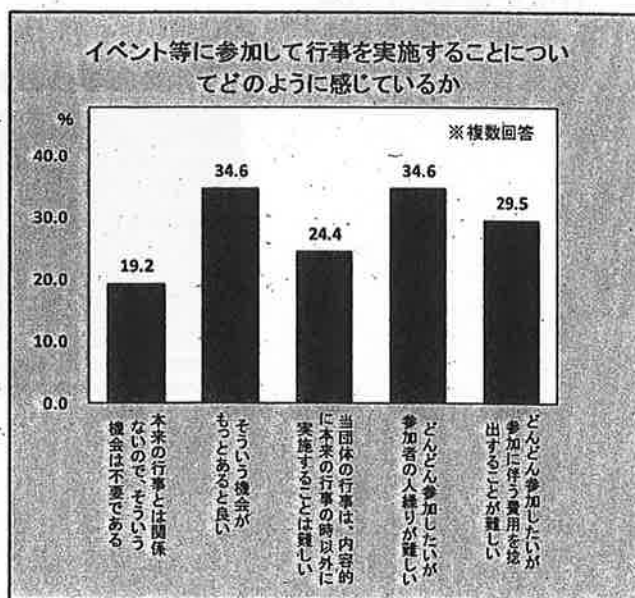


また、イベントなどで披露するために行事を実施することについて、どのように感じているか尋ねたところ(複数回答)、下表、下図のようになった。

「本来行事とは関係ないのでそういう機会は不要である」(19%)、「当団体の行事は内容的に本来行事の時以外は実施困難である」(24%)などの回答も2割前後ある一方で、「そういう機会がもっとあると良い」との回答が35%あった。

イベント等に参加して行事を実施することについてどのように感じているか【複数回答】

	n	%
本来の行事とは関係ないので、そういう機会は不要である	15	19.2
そういう機会がもっとあると良い	27	34.6
当団体の行事は、内容的に本来の行事の時以外に実施することは難しい	19	24.4
どんどん参加したいが、参加者の人絡りが難しい	27	34.6
どんどん参加したいが、参加に伴う費用を捻出することが難しい	23	29.5
(無回答)	(5)	-
回答合計	78	142.3



□ 収入の状況について

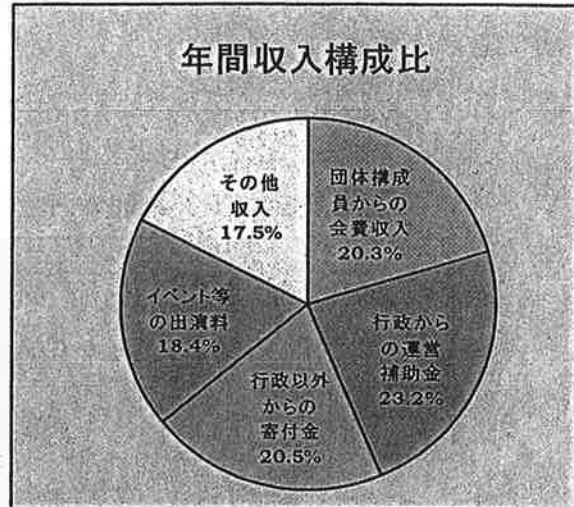
団体により年間収入の規模は違うが、収入の構成比について、団体ごとの構成比の平均値でみると、下表、下図のようになっている。

「行政からの運営補助金」については、全くないとする団体も少なくなかったが、平均すると、23%と、約4分の1を占めている(ただし、事情により期間限定で多額の補助金が支給されている先を含む)。また「その他収入」については、事実上の出演料である「御花代」なども多く含まれている。

年間収入構成比

	%
団体構成員からの会費収入	20.3
行政からの運営補助金	23.2
行政以外からの寄付金	20.5
イベント等の出演料	18.4
その他収入	17.5
合計	100.0

※ 団体ごとに構成比を算出し、その平均値を求めたもの(団体による規模の違いの影響を排除)

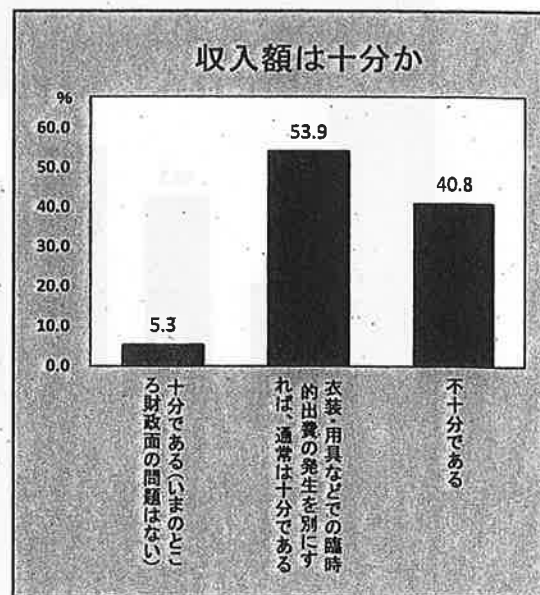


その年間収入は十分かどうかを尋ねたところ、下表、下図のようになった。

「衣装・用具などでの臨時的出費の発生を別にすれば、通常は十分である」との回答が54%を占め、最も多かった。

収入額は十分か

	n	%
十分である(いまのところ、財政面の問題は無い)	4	5.3
衣装・用具などでの臨時的出費の発生を別にすれば、通常は十分である	41	53.9
不十分である	31	40.8
(無回答)	(7)	-
回答合計	76	100.0



□ 行事を実施していくことについての考え方

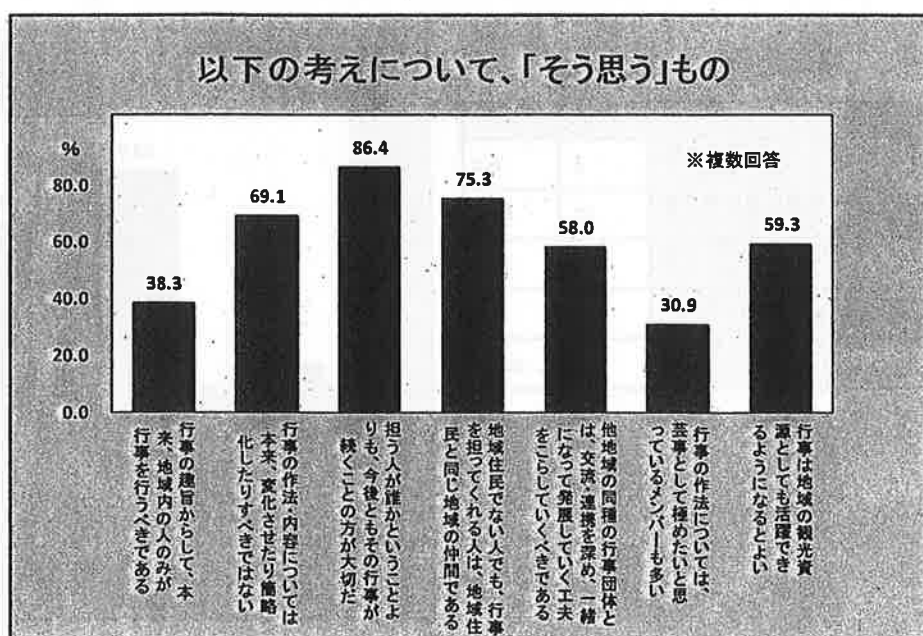
行事を実施していく上での様々な考え方を提示し、その中から「そう思う」ものを選択してもらった(結果的に複数回答)。その結果は、下表、下図の通り。

注目されるのは、「地域住民でない人でも、行事を担ってくれる人は、地域住民と同じ地域の仲間である」とするもの、つまり、たとえその地域に住んでいない人でも(いわゆる「定住人口」でない人でも)、行事を担ってくれる人なら(行事に関わることでいわゆる「関係人口」となってくれる人なら)地域の仲間として受け入れようとする考えである。「そう思う」が75%と4分の3に達している。

また、「行事は地域の観光資源としても活躍できるようになるとよい」とするものが59%と約6割に達している。

以下の考えについて、「そう思う」もの【複数回答】

	n	%
行事の趣旨からして、本来、地域内の人のみが行事を行うべきである	31	38.3
行事の作法・内容については、本来、変化させたり簡略化したりすべきではない	56	69.1
担う人が誰かということよりも、今後ともその行事が続くことが大切だ	70	86.4
地域住民でない人でも、行事を担ってくれる人は、地域住民と同じ地域の仲間である	61	75.3
他地域の同種の行事団体とは、交流・連携を深め、一緒にあって発展していく工夫をこらしていくべきである	47	58.0
行事の作法については、芸術として極めたいと思っているメンバーも多い	25	30.9
行事は地域の観光資源としても活躍できるようになるとよい	48	59.3
(無回答)	(2)	-
回答合計	81	417.3



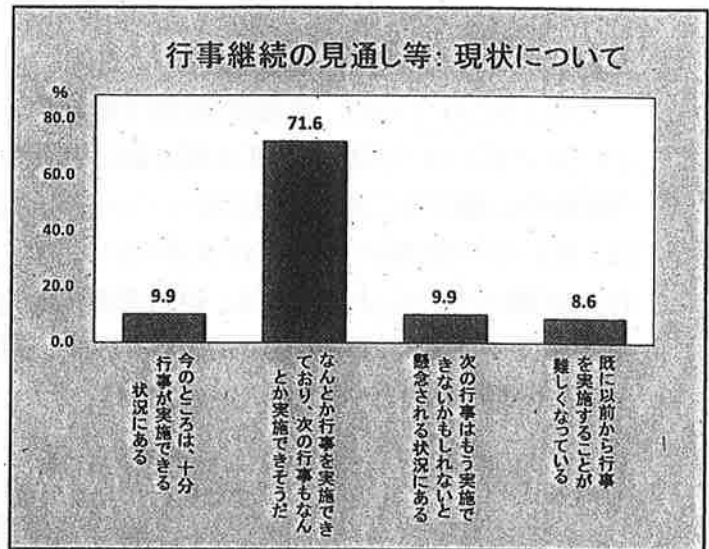
□ 行事継続の現状と今後の見通し

行事の継続状況について、現状を尋ねたところ、下表、下図のようになった。

「十分に」(10%)あるいは「なんとか」(72%)行事を実施できているとするものが 82%と8割を占めているが、「次の行事をもう実施できないかもしれないと懸念される状況」(10%)、「既に以前から行事を実施することが難しくなっている」(9%)との回答も、それぞれ1割近くあった。

行事継続の見通し等：現状について

	n	%
今のところは、十分行事が実施できる状況にある	8	9.9
なんとか行事を実施できており、次の行事もなんとか実施できそうだ	58	71.6
次の行事はもう実施できないかもしれないと懸念される状況にある	8	9.9
既に以前から行事を実施することが難しくなっている	7	8.6
(無回答)	(2)	-
回答合計	81	100.0

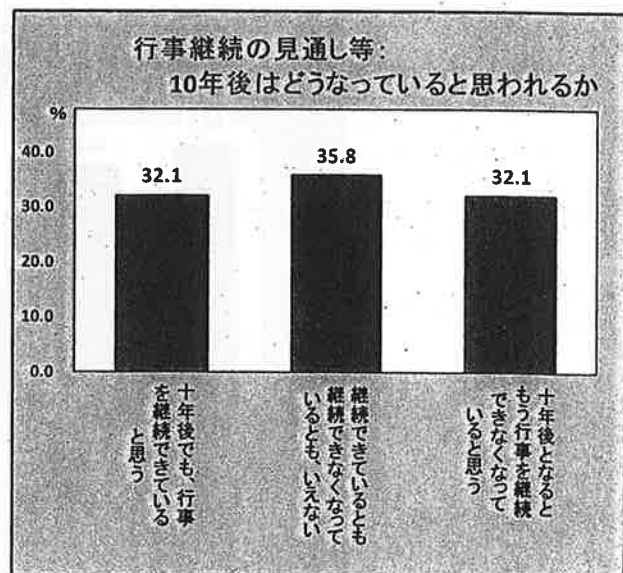


10年後はどうなっていると思われるかを尋ねたところ、下表、下図のようになった。

「10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う」とするものが、32%と3割強を占めた。

行事継続の見通し等：
10年後はどうなっていると思われるか

	n	%
10年後でも、行事を継続できていると思う	26	32.1
継続できているとも、継続できなくなっているとも、いえない	29	35.8
10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う	26	32.1
(無回答)	(2)	-
回答合計	81	100.0



②10年後にはもう行事を実施できなくなっている状況の分析

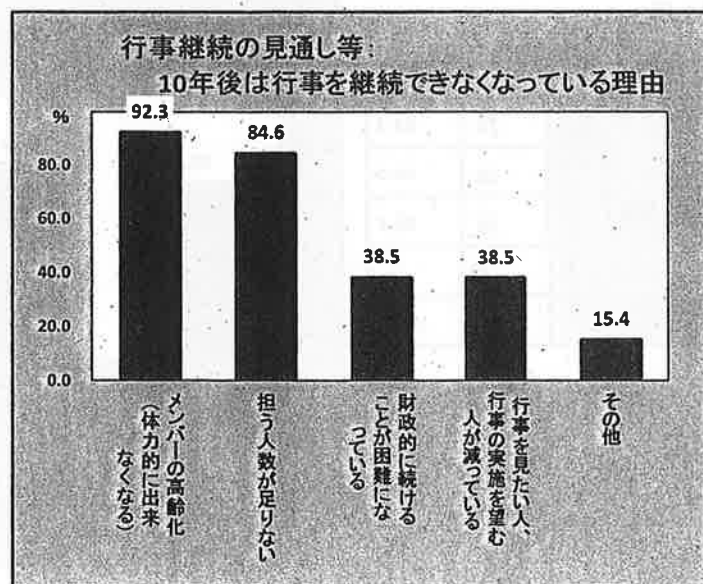
「10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う」と回答したものには、その理由を尋ねている。その結果は、下表、下図の通り。

「メンバーの高齢化(体力的にできなくなる)」が 92.3%と最も多く、ほとんど、と言っていいほどの要因となっている。ただ、高齢化という事態が 10 年後には行事の実施を困難にしている直接的な要因だとしても、なぜそのような状況になってしまったかといえ、若手・中堅のメンバーが少ない(参入してこない)ので、その結果として年齢構成比が著しく高齢化してしまっている、とも考えられる。2番目に回答が多かったのは「担う人数が足りない」で、85%と9割近くの回答となっているが、これも若手・中堅のメンバーが少ない(参入してこない)ことが原因になっているとみることができよう。

このようにみえてくると、直接的要因は高齢化だとしても、新しい担い手が入って来ない状況ということが、10 年後の行事実施を難しくしている根本の原因のようである。これに対して、「財政的に続けることが困難になっている」との回答は 39%に留まっており、財政面の問題は、担い手の問題に比べれば大きくないようだ。なお、「行事を見たい人、行事の実施を望む人が減っている」との回答も、財政問題の回答と同じ 39%を占めている。いまや、その行事の基盤である地域そのものが人口減少し、縮小していることも、行事継続の展望を困難にしている要因のひとつとなっているようだ。

行事継続の見通し等： 10年後は行事を継続できなくなっている理由。 【複数回答】

	n	%
メンバーの高齢化(体力的に出来なくなる)	24	92.3
担う人数が足りない	22	84.6
財政的に続けることが困難になっている	10	38.5
行事を見たい人、行事の実施を望む人が減っている	10	38.5
その他	4	15.4
(無回答)	(0)	-
回答合計	26	269.2



□ メンバーの高齢化

これまでみてきたように、メンバーの高齢化という状況が、10年後の行事实施を困難にしている直接的要因となっている。下表、下図は、10年後の継続見通し別に、平均年齢構成比をみたものである。

10年後でも行事を継続できていると思う			
成人団体メンバーの 平均年齢構成比率		成人団体メンバーの 10年後平均年齢構成比率	
	%		%
20歳台	5.2	20歳台	5.2
30歳台	12.4	30歳台	5.2
40歳台	19.0	40歳台	12.4
50歳台	18.5	50歳台	19.0
60歳台	23.8	60歳台	18.6
70歳台	15.7	70歳台	23.8
80歳以上	5.3	80歳以上	15.8
合計	100.0	合計	100.0

※ 団体ごとに構成比を算出し、その平均値を求めたもの（団体による規模の違いの影響を排除）

※ 現在の人数がそのまま10歳スライドすると仮定。なお、現在の80歳以上については10年後全員メンバーから退出するとし、10年後の20歳台については、現在の20歳台の人数と同数人数が占めると仮定。

継続できているとも、継続できなくなっているとも、いえない			
成人団体メンバーの 平均年齢構成比率		成人団体メンバーの 10年後平均年齢構成比率	
	%		%
20歳台	5.1	20歳台	5.2
30歳台	10.3	30歳台	5.2
40歳台	12.3	40歳台	10.4
50歳台	15.5	50歳台	12.9
60歳台	30.4	60歳台	15.6
70歳台	20.1	70歳台	30.6
80歳以上	5.8	80歳以上	20.3
合計	100.0	合計	100.0

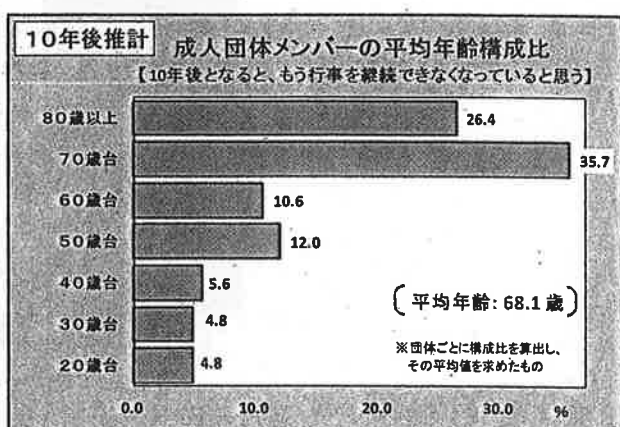
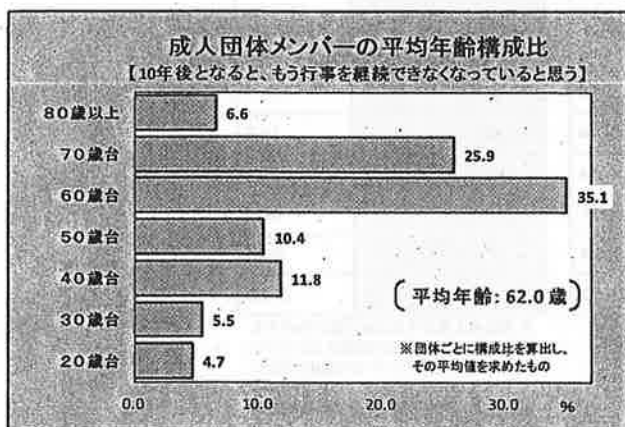
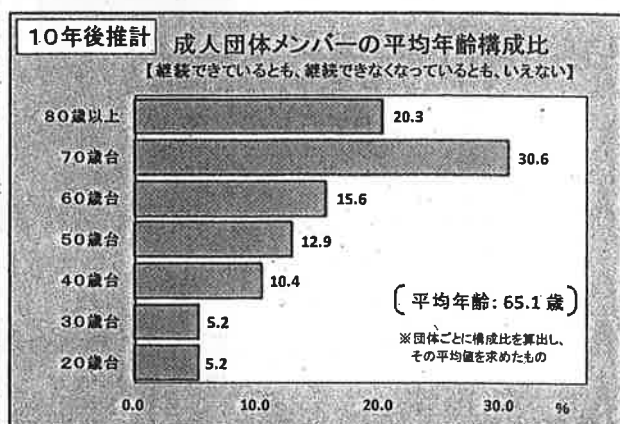
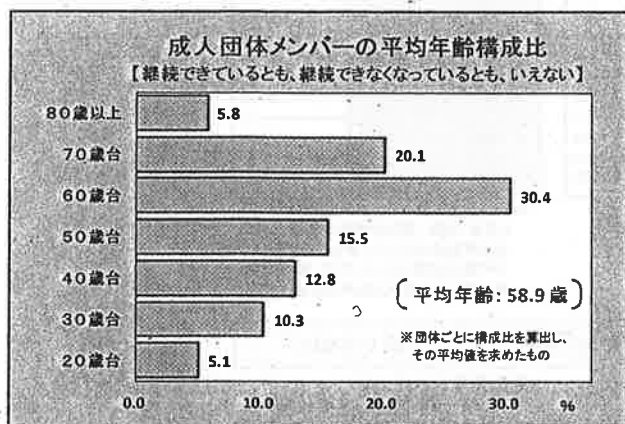
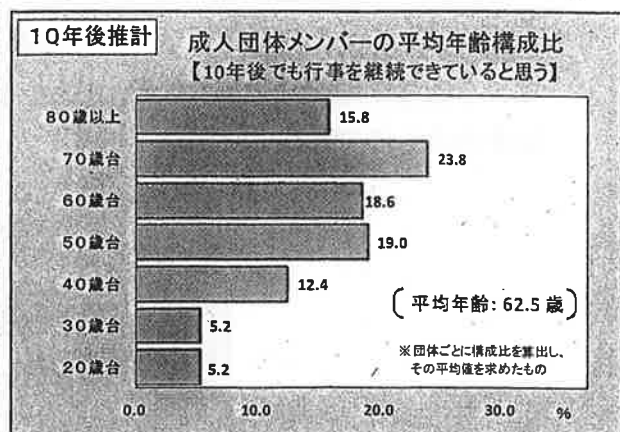
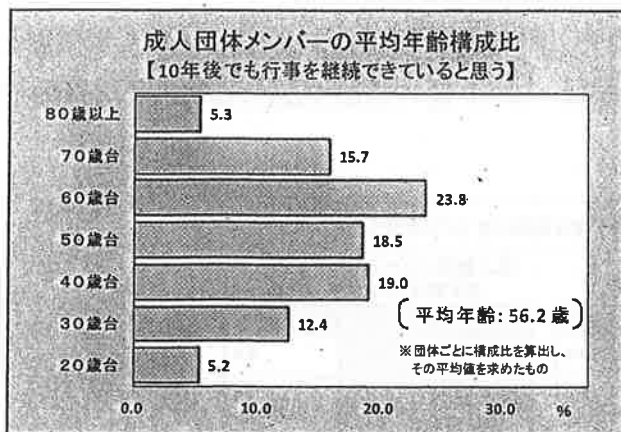
※ 団体ごとに構成比を算出し、その平均値を求めたもの（団体による規模の違いの影響を排除）

※ 現在の人数がそのまま10歳スライドすると仮定。なお、現在の80歳以上については10年後全員メンバーから退出するとし、10年後の20歳台については、現在の20歳台の人数と同数人数が占めると仮定。

10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う			
成人団体メンバーの 平均年齢構成比率		成人団体メンバーの 10年後平均年齢構成比率	
	%		%
20歳台	4.7	20歳台	4.8
30歳台	5.5	30歳台	4.8
40歳台	11.8	40歳台	5.6
50歳台	10.4	50歳台	12.0
60歳台	35.1	60歳台	10.6
70歳台	25.9	70歳台	35.7
80歳以上	6.6	80歳以上	26.4
合計	100.0	合計	100.0

※ 団体ごとに構成比を算出し、その平均値を求めたもの（団体による規模の違いの影響を排除）

※ 現在の人数がそのまま10歳スライドすると仮定。なお、現在の80歳以上については10年後全員メンバーから退出するとし、10年後の20歳台については、現在の20歳台の人数と同数人数が占めると仮定。



これをみると、「10年後でも行事を継続できていると思う」団体は、やや高齢化が進展しているとはいえ、若手・中堅のメンバーも比較的バランスよく存在している。これに対して「10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う」団体は、メンバーが60歳台、70歳台に圧倒的に集中している。若手・中堅が団体に入って来ていない。このままでは、10年後は、今度は70歳台、80歳台が中心メンバーとなることになる。

□ 人数の充足状況

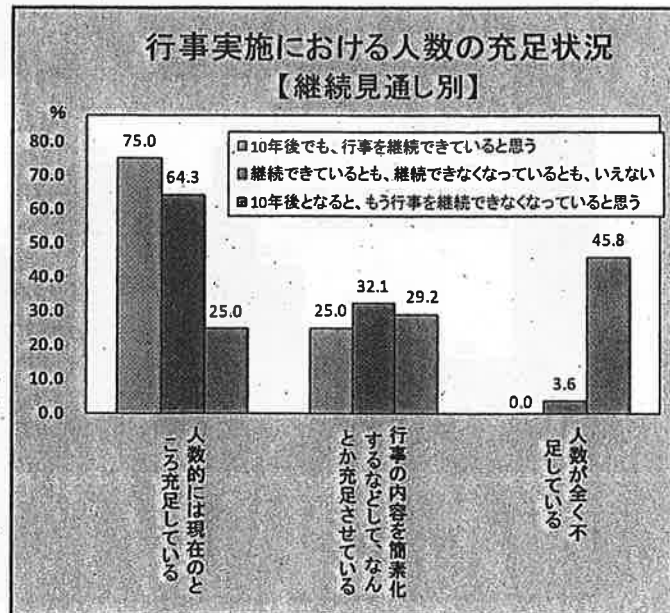
若手・中堅が入って来ないと、結果的に担い手不足に陥る。10年後の継続見通し別に、行事实施における人数の充足状況をみたのが、下表、下図である。

「人数が全く不足している」と回答したもののほとんどが、10年後は継続困難とみている。一方、これとは対照的に、「10年後でも行事を継続できていると思う」団体では、75%が「人数的には現在のところ充足している」としている。

行事实施における人数の充足状況〔継続見通し別〕

		人数的には現在のところ充足している	行事の内容を簡素化するなどして、なんとか充足させている	人数が全く不足している	(無回答)	回答合計
全体	n	43	23	12	(5)	78
	%	55.1	29.5	15.4	-	100.0
10年後でも、行事を継続できていると思う	n	18	6	0	(2)	24
	%	75.0	25.0	0.0	-	100.0
継続できているとも、継続できなくなっているとも、いえない	n	18	9	1	(1)	28
	%	64.3	32.1	3.6	-	100.0
10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う	n	6	7	11	(2)	24
	%	25.0	29.2	45.8	-	100.0

※「全体」は、継続見通しについて無回答の者も含む



□ 収入の状況について

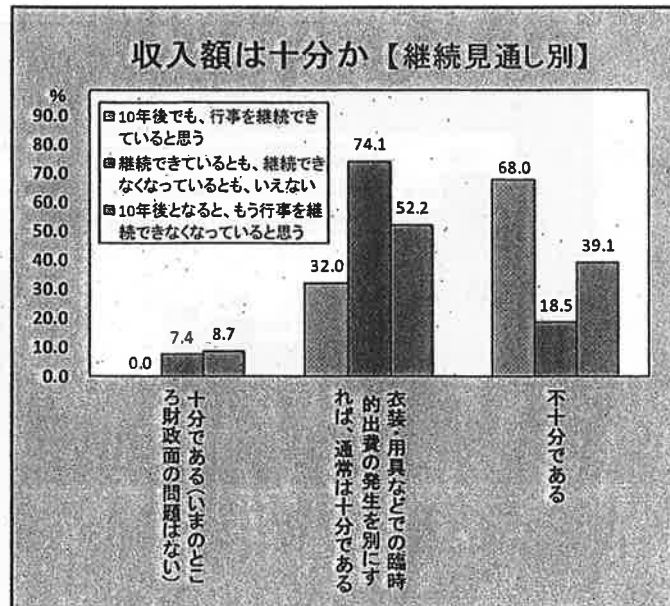
これに対して、財政の問題は、10年後の継続見通しを分ける決定的な要因とはなっていないようである。下表・下図は、「収入額は十分か」について、10年後の継続見通し別にみたものである。

収入が十分かどうかは、マチマチで、継続見通しを峻別する要因にはなっていない。むしろ、「10年後でも行事を継続できていると思う」団体の方に、収入額の不十分さを感じているところが多い傾向がうかがえる。もっともこれには、活動が不活発なところは、不活発であるがゆえに費用の問題があまり発生しない、という面もあると思われる。

収入額は十分か〔継続見通し別〕

		十分である (いまのところ、財政面の 問題は無い)	衣装・用具などでの臨時的 出費の発生を別にすれば、 通常は十分である	不十分 である	(無回答)	回答合計
		全体	n	4	41	31
	%	5.3	53.9	40.8	-	100.0
10年後でも、行事を継続でき ていると思う	n	0	8	17	(1)	25
	%	0.0	32.0	68.0	-	100.0
継続できているとも、継続でき なくなっているとも、いえない	n	2	20	5	(2)	27
	%	7.4	74.1	18.5	-	100.0
10年後となると、もう行事を継 続できなくなっていると思う	n	2	12	9	(3)	23
	%	8.7	52.2	39.1	-	100.0

※「全体」は、継続見通しについて無回答の者も含む



なお、10年後の継続見通し別に年間収入構成比をみると、下表・下図のようになる。「10年後でも行事を継続できていると思う」団体では「行政からの運営補助金」の割合がやや高い傾向がうかがえるものの、見通し別に大きな違いはない。

10年後でも行事を継続できていると思う

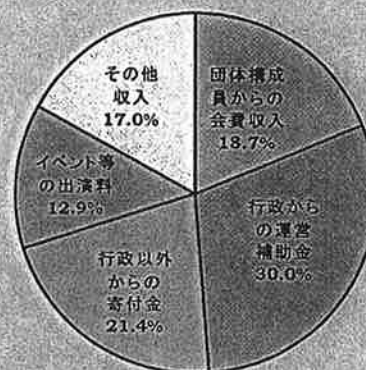
年間収入構成比

	%
団体構成員からの会費収入	18.7
行政からの運営補助金	30.0
行政以外からの寄付金	21.4
イベント等の出演料	12.9
その他収入	17.0
合計	100.0

※ 団体ごとに構成比を算出し、その平均値を求めたもの（団体による規模の違いの影響を排除）

年間収入構成比

10年後でも行事を継続できていると思う



継続できているとも、継続できなくなっているとも、いえない

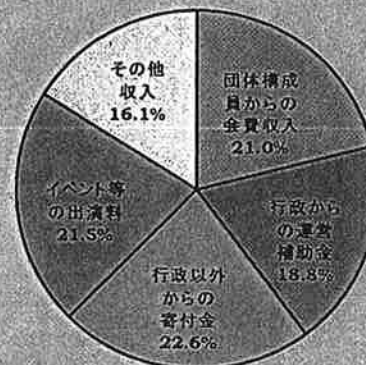
年間収入構成比

	%
団体構成員からの会費収入	21.0
行政からの運営補助金	18.8
行政以外からの寄付金	22.6
イベント等の出演料	21.5
その他収入	16.1
合計	100.0

※ 団体ごとに構成比を算出し、その平均値を求めたもの（団体による規模の違いの影響を排除）

年間収入構成比

継続できているとも、継続できなくなっているとも、いえない



10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う

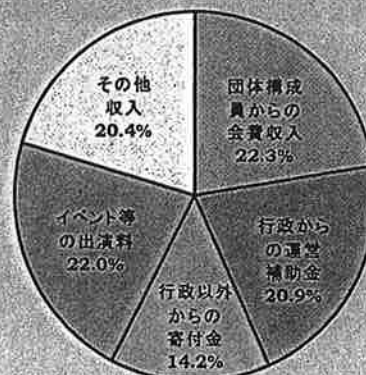
年間収入構成比

	%
団体構成員からの会費収入	22.3
行政からの運営補助金	20.9
行政以外からの寄付金	14.2
イベント等の出演料	22.0
その他収入	20.4
合計	100.0

※ 団体ごとに構成比を算出し、その平均値を求めたもの（団体による規模の違いの影響を排除）

年間収入構成比

10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う



③10年後にはもう行事を実施できなくなっている状況の分析

県内の指定団体の中には、「10年後の見通し」ではなく、「既に」活動を休止している団体もある。本格的に団体活動を休止しているところからは今回の調査の回答も得られなかったが、ここでは、「事業継続の見通し」のなかで「現状について」尋ねた中で、休止状態に近いもの、すなわち「既に以前から行事を実施することが難しくなっている」もしくは「次の行事はもう実施できないかもしれないと懸念される状況にある」との回答に着目することで、(他の回答選択肢は「今のところは十分に行事が実施できる状況にある」、「なんとか行事を実施できており、次の行事もなんとか実施できそうだ」)休止状態となっているものの特徴をみた。

上記のように「現状について」の回答を2区分した場合、平均年齢構成比は下表、下図のようになっている。

十分行事が実施できる状況にある、なんとか行事を実施できている			
成人団体メンバーの 平均年齢構成比率		成人団体メンバーの 10年後平均年齢構成比率	
	%		%
20歳台	5.2	20歳台	5.2
30歳台	10.8	30歳台	5.2
40歳台	16.4	40歳台	10.7
50歳台	15.8	50歳台	16.4
60歳台	26.0	60歳台	15.7
70歳台	20.9	70歳台	25.9
80歳以上	5.0	80歳以上	20.8
合計	100.0	合計	100.0

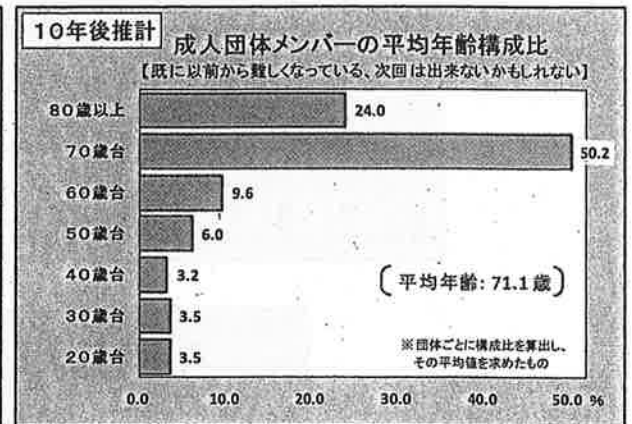
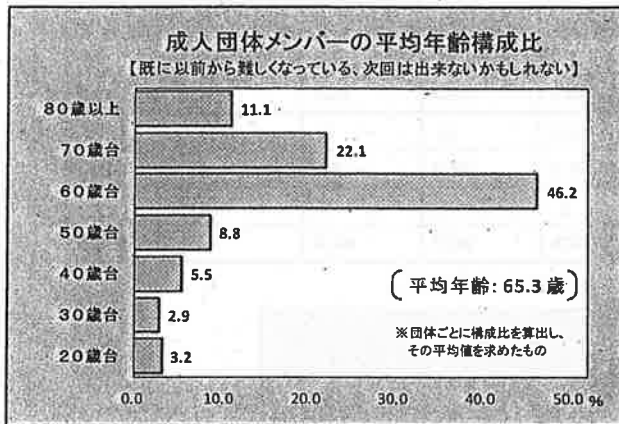
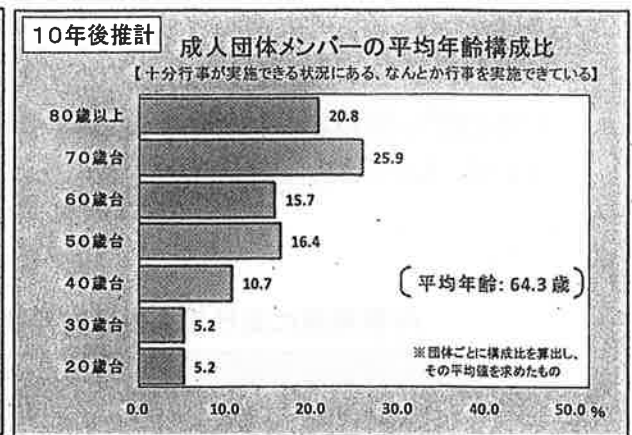
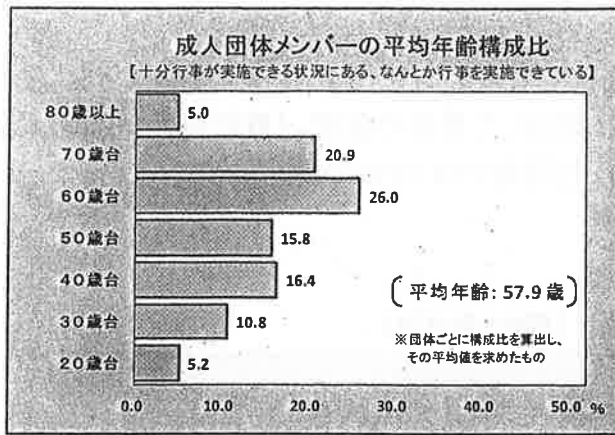
※ 団体ごとに構成比を算出し、その平均値を求めたもの(団体による規模の違いの影響を排除)

※ 現在の人数がそのまま10歳スライドすると仮定。なお、現在の80歳以上については10年後全員メンバーから退出するとし、10年後の20歳台については、現在の20歳台の人数と同数人数が占めると仮定。

既に以前から難しくなっている、今回は出来ないかもしれない			
成人団体メンバーの 平均年齢構成比率		成人団体メンバーの 10年後平均年齢構成比率	
	%		%
20歳台	3.2	20歳台	3.5
30歳台	2.9	30歳台	3.5
40歳台	5.5	40歳台	3.2
50歳台	8.8	50歳台	6.0
60歳台	46.2	60歳台	9.6
70歳台	22.1	70歳台	50.2
80歳以上	11.1	80歳以上	24.0
合計	100.0	合計	100.0

※ 団体ごとに構成比を算出し、その平均値を求めたもの(団体による規模の違いの影響を排除)

※ 現在の人数がそのまま10歳スライドすると仮定。なお、現在の80歳以上については10年後全員メンバーから退出するとし、10年後の20歳台については、現在の20歳台の人数と同数人数が占めると仮定。



このように、休止状態に近い団体は、年齢構成の高齢化が著しく進んでいる。さきほどみた「10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う」とした団体の年齢構成よりもさらに若手・中堅層が薄い。平均年齢も65歳に達しており、10年後には71歳になる。

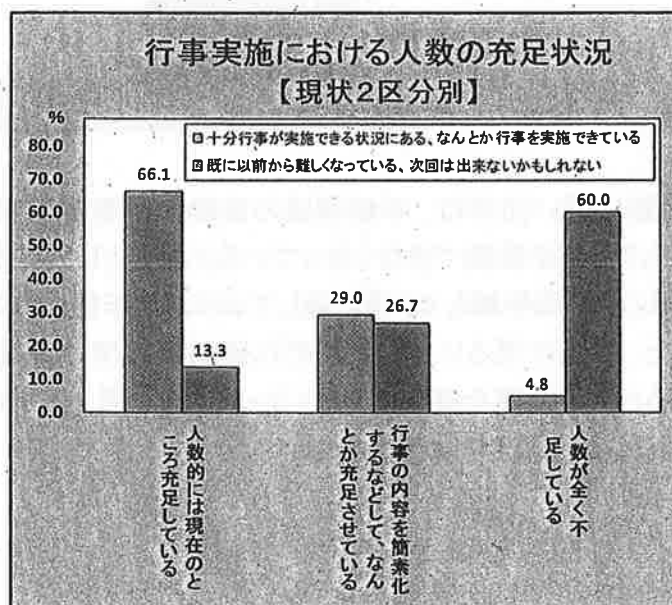
このようにみえてくると、休止に至るには、それぞれ個別の事情は背景にあるものの、状況的には「10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う」団体の状況が極まったとき、実際の休止にいたる、ということのようである。

同様の区分で、行事实施における人数の充足状況をみると、下表、下図のようになっている。

「人数が全く不足している」との回答は、「10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う」団体では46%だったが、現状2区分した場合の后者、「既に以前から難しくなっている、もしくは次回は出来ないかもしれない」団体では60%に達している。

行事实施における人数の充足状況【現状2区分別】

		人数的には現在のところ充足している	行事の内容を簡素化するなどして、なんとか充足させている	人数が全く不足している	(無回答)	回答合計
		n	n	n	(n)	n
全体	n	43	23	12	(5)	78
	%	55.1	29.5	15.4	-	100.0
十分行事が実施できる状況にある、 なんとか行事を実施できている	n	41	18	3	(4)	62
	%	66.1	29.0	4.8	-	100.0
既に以前から難しくなっている、 次回は出来ないかもしれない	n	2	4	9	(0)	15
	%	13.3	26.7	60.0	-	100.0



(3)ヒアリング調査結果

以下の観点から6団体を選び、現況回答の内容などについて調査票の記入者(保存団体の代表等)に詳しく聞き取るヒアリングを行った。

No.	指定名称	保存団体名	ヒアリング項目
1	三作神楽	三作神楽保存会	担い手について 本来行事以外の出演について その他
2	花笠踊	花笠踊保存顕彰会	担い手の居住地が広がったことについて 今後の継承が危ぶまれている(休止が懸念される)経緯について 今後の展望
3	住吉神社「お船謡」	住吉神社御船謡保存会	本来行事は1日ばかりであることについて 本来行事以外での披露について 担い手の確保について 技能(芸)等の継承について 「日本の祭り」に収録されることについて
4	周南市安田の糸あやつり人形芝居	周南市安田の糸あやつり人形芝居保存会	担い手について 地域外の人との地域交流の可能性について 披露する機会について 子供たちに教えていることについて 共同公演について
5	切山歌舞伎	切山歌舞伎保存会	担い手について 市外からの参加の難しさについて 興味を引く活動について 公演での収入について 広く披露することについて
6	岩戸神楽舞	岩戸神楽舞顕彰保存会	かつて休止となった経緯について 復活に向け動き出した経緯について 新たな担い手について 高校生とのコラボレーション等について 広く披露することについて

ヒアリングにより、さまざまなことを確認することが出来た(それぞれのヒアリング内容は本報告書に掲載)が、ここでは、以下の切り口のものについて、まとめた。

□ 文化財行事のエリア認識

文化財行事を行う地域としてのエリア認識については、団体によってさまざまだった。

ただ、文化財名称に由来する本来的な小地域だけで構成しているところは少ない。たとえば、「三作神楽」は三作地区だけでなく、和田地域に広がっている。「岩戸神楽舞」はもともと二ツ道祖地区のものだったが、いまや万倉地域の行事として定着している。一方、「花笠踊り」のように、八代地域にまで広がらず、魚切地区に事実上とどまっているところもある。なお、「周南安田の糸あやつり人形芝居」や「切山歌舞伎」のような芸能系では、文化財名称に由来する小地域については発祥の地という意味づけはあるものの、エリア認識ということ自体が、それほど強くない。

□ 担い手の住所地

担い手の住所地については、あまりこだわりのないところが多かった。「どこに」住んでいるかよりも、「誰が」担ってくれるかのほうが重視されており、「岩戸神楽舞」のように、ミュージカル団体の構成員(住所はばらばら)が担っているところもある。ただし、日頃の練習への参加が可能か(コミュニケーションがとれるか)、という問題になったときに、担い手になる側のほうに住所(通い易さ)の問題が発生する。また、団体側にとっては、その「誰が」の人が、当面は担ってもらうにしても、きちんと伝統を引き継ぎ、いずれは次に継承できるような立場になれる人材であるかが、関心事となっている(「花笠踊り」など)。そういう意味では、伝承してくれる人と、そうではないが当面の行事開催に協力してくれる人(あるいはちょっと体験してみたい人)とに認識を分けて取り組むべきと考えているところも多い(「三作神楽」「岩戸神楽舞」「花笠踊り」「周南安田の糸あやつり人形芝居」など)。

なお、このことは行事の性格上一様ではなく、たとえば「住吉神社「お船謡」」のように、地区内(ここでは浜崎地区内)の人にこだわって担い手の主要メンバーを構成しているところもある。

□ 活動の拠点や事務局

「岩戸神楽舞」や「周南安田の糸あやつり人形」では、公民館(自治会館)内に活動の拠点があり、そこに練習や発表の場が整備されている。つまり、ある意味地域コミュニティに組み込まれた活動となっている(「岩戸神楽舞」では万倉地域コミュニティ、「周南安田糸あやつり人形」では三丘地域コミュニティ)。また「切山歌舞伎」では、切山歌舞伎保存会に加え、下松市教育委員会に事務局を置き、市民が活動を担う支援組織(切山歌舞伎後援会)がある。このような状況下、行事のエリア認識を魚切地区から八代地域に広げたい「花笠踊り」では、八代地域コミュニティ(公民館)に拠点を移し、その場で事務局機能も、公民館(教育委員会職員)の手により担う形にならないか、模索している。

□ 新たな学校とのコラボレーション

地元校区の小学校(あるいは中学校)の授業等で伝統芸能を教え、発表の場も設けているという活動はよく見受けられる(今回の例では、「切山歌舞伎」「周南安田の糸あやつり人

形芝居」「三作神楽」など)。この点では、学校統廃合の問題(統合の結果、すべての生徒にとって「地元の」伝統行事とは言えなくなる)が横たわる(「三作神楽」)。

いま、小学校等の総合学習的な位置付けを超え、新たな形で地元高等学校とのコラボレーションを志向しているところがある。「岩戸神楽舞」では、グッズ開発、衣装制作、情報発信等を地元高校生が担っている。「住吉神社「お船謡」」では、引き子の一翼を地元高校生が担っている。また「花笠踊」では、当面の踊り子(伝統的に、未婚女子に限られている)を、地域の女子という垣根を越えて市内の高校生の中から担ってもらえないか志向している。

なお、このような高校生との新たなコラボレーションの形について、「三作神楽」では、地元の大学生とのコラボレーションの形でもできないか、志向している。

□ 地域活性化との結びつき

「三作神楽」「岩戸神楽舞」では、所属都市等の地域観光ツアーの行程の中に行事の披露が組み込まれていくと良いと考えている。このことで、自地域に交流人口を呼び込むことが出来、ひいては地域活性化に結びつくと思われるからである。なお、両者に共通しているのは、観光ツアーで交流人口が拠点を訪れたとき、そこには行事を披露できるスペースが確保されていることである(岩戸神楽舞は自治会館、三作神楽は伝承館)。その意味では、「周南安田の糸あやつり人形芝居」の拠点(三丘市民センター「徳修館」)にも、ステージが整備されている。一方「切山歌舞伎」では、そのような施設がなく、「演舞場」の再建を望んでいる。

また「三作神楽」「岩戸神楽舞」では、グッズ、土産品の開発を志向している。これは、そのグッズ、土産品を地域内で作れば地域の産業起こしに結びつくと思われるからである。

□ 活動休止の経緯、復活の経緯

さきほど「地域の将来人口推計」でみたように、合併前旧市町村によっては極端に若者・壮年層の少ないところがある。このような中、無形民俗文化財行事を行う小地域単位でも、過疎化が極端に進行し、集落そのものの維持が困難となっているところも少なくないはずである。

「岩戸神楽舞」では、かつて活動休止に追い込まれたことがあった。その原因は、地域が次第に限界集落化し、既存メンバーが高齢化していく中で、新たな担い手が賄えなくなったからだった。特に、笛や太鼓の楽(がく)メンバーが途絶えたことが、休止せざるを得なくなった決定的な要因となった。

「花笠踊」も休止に至る可能性が高まっている(次の開催が危ぶまれる)状況にあるが、これは、本来の行事地域の魚切地区で過疎化が極度に進んでいるだけでなく、これから広がっていきたいと考えている八代地域全体でも、過疎化が進行しているので、今後の展望として担い手の調達が非常に困難になる(もし「未婚の女子(早乙女)に限る」という制約を取り払ったとしても、過疎化が進行する中では一時凌ぎにしかならない)からである。

なお、「岩戸神楽舞」は復活途上にあるが、復活経緯としては、地域の地域計画の中に岩戸神楽舞の復活を盛り込んだこと(意識の醸成)と、直接的には復活のための復興資金の補助金がついたことによる。

(4) 対応策の検討

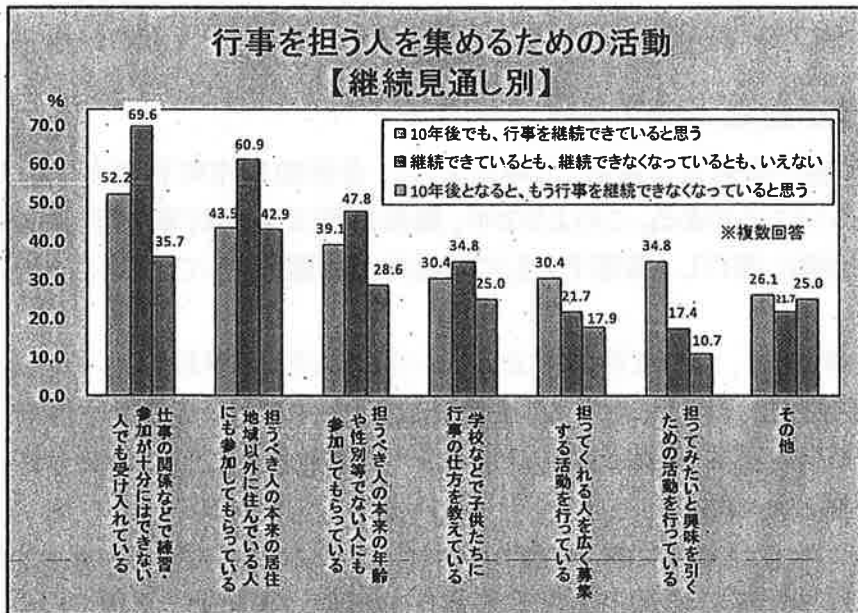
□ 地域外からの担い手募集支援

今後とも行事が続いていくためには、若年・中堅層の担い手を導入していく必要がある。ただし、本来の行事地域内からでは、人口減少下、調達が困難である。そのため、本来の行事地域外からも担い手を確保していかなければならない。

これに対して、下表、下図にみるように、既に、10年後の継続見通し如何に関わらず、地域外からの担い手の受け入れは進められている(「担うべき人の本来の居住地以外に住んでいる人にも参加してもらっている」との回答が4割～6割)。つまり、外部からも受け入れること自体に抵抗感のない(むしろ、そうしてでも行事の継続を図りたい)先は少なくない。

しかし、外部の人への声掛けは縁者などに個別に行っているようで、広く募集を掛けているところはそれほど多くない(「担ってくれる人を広く募集する活動を行っている」との回答が2割～3割)。また、たとえ広く募集をかけるにしても、団体が単独に募集するのでは限界がある。したがって、市町等が間に入って、行政等の力により広く募集をかけられる仕組みを作ることが必要と思われる。

このようにして広く募集を掛けるエリアは、2種類ある。ひとつは、自らの市町を中心としたエリアである。このエリア内の担い手は、距離的にも濃密に行事に関われる人たちであり、後継者(演者等)になりうる人たちである。このエリアへの募集に際しては、まず、その行事が、



行事を担う人を集めるための活動【複数回答】【継続見通し別】

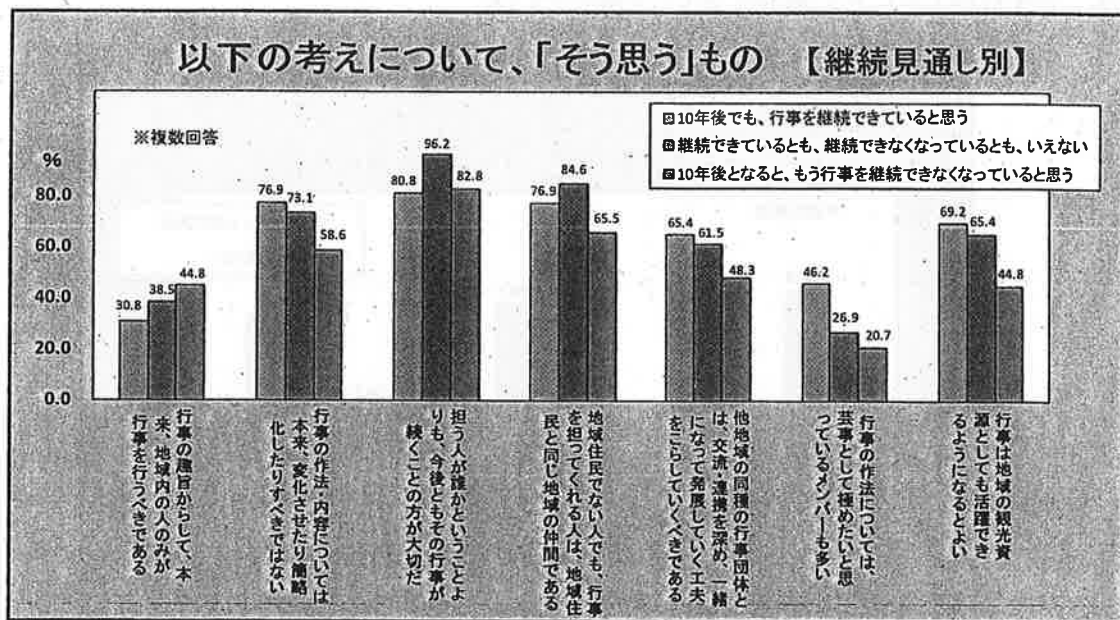
	n	仕事の関係などで練習・参加が十分にはできない人でも受け入れてくれる	担うべき人の本来の居住地以外に住んでいる人にも参加してもらっている	担うべき人の本来の年齢や性別等でない人にも参加してもらっている	学校などで子供たちに行事の仕方を教えている	担ってくれる人を広く募集する活動を行っている	担ってみたいと興味を引くための活動を行っている	その他	(無回答)	回答合計
		%	%	%	%	%	%	%		
全体		38	36	28	22	17	15	20	(7)	76
		50.0	47.4	36.8	28.9	22.4	19.7	26.3	-	231.6
10年後でも、行事を継続できていると思う	12	10	9	7	7	8	6	(3)	23	
		52.2	43.5	39.1	30.4	30.4	34.8	26.1	-	256.5
継続できているとも、継続できなくなっているとも、いえない	16	14	11	8	5	4	5	(3)	23	
		69.6	60.9	47.8	34.8	21.7	17.4	21.7	-	273.9
10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う	10	12	8	7	5	3	7	(1)	28	
		35.7	42.9	28.6	25.0	17.9	10.7	25.0	-	185.7

※「全体」は、継続見通しについて無回答の者も含む

特定の地域の伝統行事ではなく、その特定の地域発祥の、「自らの市町の伝統行事」であると位置付け、その上で、「自らの市町の伝統行事を担ってみたいか」と募集をかけることが効果的と思われる。このことは、「どこで行われている行事なのか」という対象エリアの概念を拡大し、「特定の地区でおこなわれる行事」ではなく「特定の市町でおこなわれる行事」とすることで、人口減少・若者流出の流れの中で大きく縮小している担い手候補対象者のパイを大きくする。そのことで、今後のますます激しくなるであろう担い手不足の問題を改善していこうとするものである。

もうひとつは、特定のエリアに限定しない募集であり、例えば大都市住民等も対象とする募集である。その行事、およびその行事が行われる地域に興味を持ち、手伝いなど支援的形になってでもその行事に関わることを通じて、ひいてはその行事が行われる地域と関わっていこうとする人たちを募集する。つまり、中山間地域等に「関係人口」を活発化させていくための、ひとつの切り口、ツールとして募集をかけるわけである。なお、初めは手伝いなど支援的な形で関わっていた「関係人口」の中から、本格的な担い手となるために「居住人口」に移行する者が現れる可能性もある。

ちなみに、10年後の継続見通し如何にかかわらず、「地域住民でない人でも、行事を担ってくれる人は、地域住民と同じ地域の仲間である」と考えている団体は少なくない(下表、下図参照)。



以下の考えについて、「そう思う」もの【複数回答】【継続見通し別】

		行事の趣旨からして、本来、地域内の人のみが行事を行うべきである	行事の作法・内容については、本来、変化させたり簡略化したりすべきではない	担う人が誰かということよりも、今後ともその行事が続くことの方が大切だ	地域住民でない人でも、行事を担ってくれる人は、地域住民と同じ地域の仲間である	地域の同種の行事団体とは、交流・連携を深め、一精になって発展していく工夫をこらしていくべきである	行事の作法については、本来、変化させたり簡略化したりすべきではない	行事は地域の観光資源としても活躍できるようにする	(無回答)	回答合計
		n	n	n	n	n	n	n		
全体	n	31	56	70	61	47	25	48	(2)	81
	%	38.3	69.1	86.4	75.3	58.0	30.9	59.3	-	417.3
10年後でも、行事を継続できていると思う	n	8	20	21	20	17	12	18	(0)	26
	%	30.8	76.9	80.8	76.9	65.4	46.2	69.2	-	446.2
継続できているとも、継続できなくなっているとも、いえない	n	10	19	25	22	16	7	17	(0)	26
	%	38.5	73.1	96.2	84.6	61.5	26.9	65.4	-	446.2
10年後となると、もう行事を継続できなくなっていると思う	n	13	17	24	19	14	6	13	(0)	29
	%	44.8	58.6	82.8	65.5	48.3	20.7	44.8	-	365.5

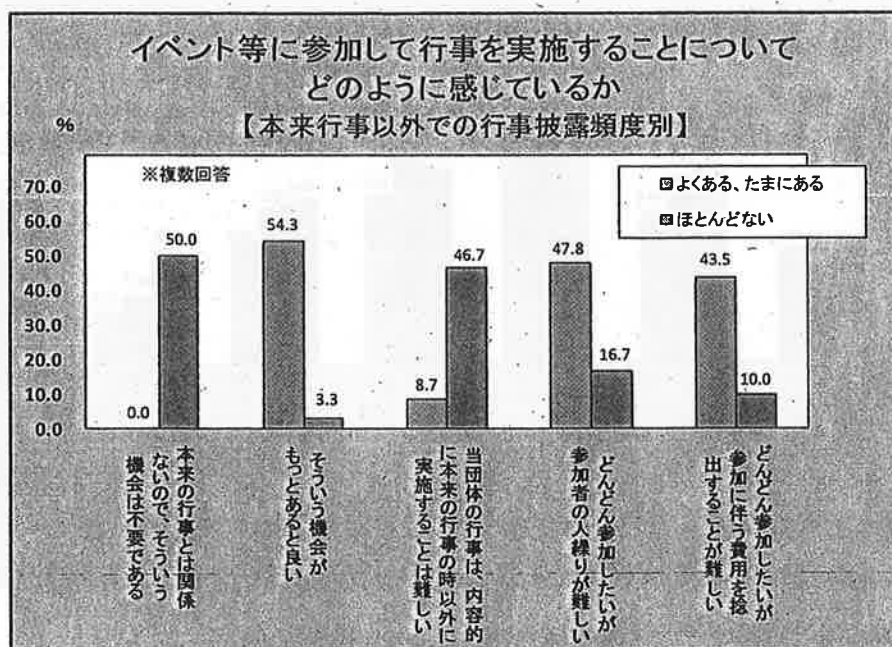
※「全体」は、継続見通しについて無回答の者も含む

□ 披露の場の積極的提供

市町等が広く担い手の募集をかけるに際しては、行事自体の周知・PRも並行してかける必要がある。「関係人口」関連の募集の場合、県外でおこなう市町自体のPRの機会には、行事の事も市町のセールスポイントの一つ(魅力コンテンツの一つ)として積極的に取り上げる必要がある。

「自市民」関連の募集に際しては、市町等で何らかのイベントを行う際に、そのプログラムに民俗文化財行事の披露を積極的に組み入れていくことが望まれる。そうすることが、自市民に対して行事のPR(魅力を知ってもらい、関心を持ってもらう)になり、担い手募集に手を挙げる動機づけとなる。また、市町のイベントに積極的に露出することが「この行事は、わが市町の行事である」という行事エリア概念の拡大に寄与する。ひいては、市民が、わが市町の、自分たちの行事なのだから担い手として参加しようかと思う機運の醸成に繋がる。

ちなみに、下表、下図にみるように、本来行事以外にもイベントなどで行事を披露することについて消極的なのは、そのように消極的にならざるを得ない事情や考えのある団体によるもの(だからそういう団体は、実際に、本来行事以外に行事を披露することは「ほとんどない」)であり、そういう事情等がなく、現在披露することが「よくある」もしくは「たまにある」団体は、「そういう機会がもっとあると良い」と感じている。もしくは、人練りや費用捻出の問題を抱えつつも、できれば「どんどん参加したい」と感じている。



イベント等に参加して行事を実施することについてどのように感じているか 【複数回答】
【本来行事以外での行事披露頻度別】

		本来の行事とは関係ないので、そういう機会は不要である	そういう機会がもっとあると良い	当団体の行事は内容的に本来の行事の時以外に実施することは難しい	どんどん参加したいが参加者の人練りが難しい	どんどん参加したいが参加に伴う費用を捻出することが難しい	(無回答)	回答合計
		全体	n	15	27	19	27	23
	%	19.2	34.6	24.4	34.6	29.5	-	142.3
よくある、たまにある	n	0	25	4	22	20	(0)	46
	%	0.0	54.3	8.7	47.8	43.5	-	154.3
ほとんどない	n	15	1	14	5	3	(3)	30
	%	50.0	3.3	46.7	16.7	10.0	-	126.7

□ 支援のメニュー化

地域外から担い手を広く募集することは、それを望んでいる保存団体が多いことが窺えるからだが、一方で、団体によっては、必ずしもそういうことは望まない事情や考えのあるところもあるだろう。また、披露の場の積極的な提供についても、そういうことができない事情や考え方のある団体もある。

つまり、無形民俗文化財にも様々なものがあり、一律に適応させる支援方法では、どのような支援であれ、全ての団体には当てはまらない懸念がある。

そこで、地域内の様々な無形民俗文化財については、これを一律にとらえず、まず、それぞれの事情や考え方などを把握して、何らかの切り口で類型化しておく必要がある。そして、類型ごとに支援方法を考えていく必要がある。結果的に、支援策は、団体ごと(類型ごと)に選択が可能なようにメニュー化して整備しておく必要がある。

3 用語解説

本計画に記載されている用語のうち、専門的な用語、十分に定着していない用語などについて、その解説を記載しています。

なお、用語の右側に付している【 】は、当該用語が出てくるページを示しています。

あ行

アイ・シー・ティー

● I C T

【p44】

Information and Communications Technology(情報通信技術)の略。IT と比べ、コンピューターや情報通信ネットワークなどを通じた情報・知識の共有という「コミュニケーション」に焦点が当てられている。

●アクションプラン

【p47】

行動計画のこと。実行計画ともいう。

エー・アール

● A R

【p44】

Augmented Reality(拡張現実)の略。現実の風景に、コンピューターによる仮想の視覚情報を重ねて表示する技術のこと。

●応急危険度判定

【p50】

大地震により被災した建築物について、その後の余震等による、倒壊や、外壁・窓ガラスの落下、付属設備の転倒などの危険性を判定し、人命にかかわる二次的被害を防止することを目的とした制度「地震被災建築物応急危険度判定」に基づく判定のこと。

判定結果は緑(調査済)・黄(要注意)・赤(危険)の三段階で区分し、建築物の出入り口などの見えやすい場所に設置することで、その建築物の利用者だけでなく付近を通行する歩行者などに対しても安全性の識別ができるようにしている。

●オーバーユース

【p39,44】

過剰利用のこと。文化財分野でのオーバーユースとは、文化財の劣化などの影響や住民、社寺等文化財における生活に影響が出る程に増加した観光客による利用のことをいう。

世界遺産では、世界遺産たる価値に影響が出るようなオーバーユースを防ぐ対策が求められている。

か行

●管理責任者制度

【p43】

文化財分野での管理責任者制度とは、所有者が海外に一定期間滞在し、所在地を離れて居住しており管理義務を十分に果たせない場合や、高齢化し日常的

な文化財の管理が困難となった場合や、文化財の管理をより専門的な知見があるものに任せたい場合など文化財の適切な管理の必要があるときに、所有者に代り、管理責任者に管理を行わせる制度のこと。管理責任者には、管理費用の負担や修理を行う義務はない。

●危険判定(赤紙)

【p50】

応急危険度判定による結果の一種で、赤色のステッカーのこと。これが貼られていると、建物に入るとは危険なので入らないでくださいという意味がある。ステッカーには注意書きがされているので、具体的にどこが危険な状態か分かるようになっている。

なお、黄色は、危険な部位が有るなどで建物に入る場合は注意してくださいという意味。緑色は、建物が使用可能な状態であることを示している。

●建築基準法の制限の緩和

【p47】

建築基準法の対象となる建築物であっても、限定的に建築物を選び出し、それらに限り建築物基準法の一部の規定について、適用の除外や制限の緩和を行っている。文化財保護法で規定されている伝統的建造物群保存地区内の建築物の改築等を行う場合には、国土交通大臣の承認を得て、条例で建築基準法の一定の規定において適用除外または緩和を受けることができる。

●建築基準法の適用除外

【p47】

建築基準法の対象となる建築物であっても、限定的に建築物を選び出し、それらに限り建築物基準法の一部の規定について、適用を除外している。国宝や国指定の重要文化財などが該当する。また、条例によって現状変更の規制と保存措置が講じられている建築物で、特定行政庁が建築審査会の同意を得て指定されたもの等も、建築基準法の適用を除外している。

●建築審査会

【p47】

建築基準法に基づき、建築主事が置かれる市町村や都道府県に設置される審査会のこと。建築基準法の施行に関する重要事項を調査審議する。

●クラウドファンディング 【p43】
事業を起こしたい人や団体等がインターネットを通じて多数の資金提供者から少額ずつ、事業に必要な資金を集める仕組みのこと。

●国宝・重要文化財(建造物)の防火対策ガイドライン 【p49】
文化庁が、消防庁、国土交通省と連携して作成した、総合的な防火対策の検討・実施に役立つガイドラインのこと。「国宝・重要文化財(美術工芸品)を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」も作成されている。

●コミュニティ・スクール 【p44】
保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設置されている学校のこと。学校運営協議会とは、学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。

さ行

●災害時広域受援計画 【p50】
大規模災害発生時に県外からの広域的な支援を速やかに要請し、円滑に受け入れるために必要となる体制等を定めた計画のこと。

●史跡 【p14,15, 16,18,21,22,23,25,27,29,34,49】
文化財の種別の一つ。貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅その他の遺跡で歴史上または学術上価値の高いものこと。名勝、天然記念物と合わせて、記念物に分類されている。

●悉皆調査 【p43】
対象となるものを全て調べる調査のこと。全数調査ともいう。文化財の分野別悉皆調査とは、調査対象の分野を特定し、その分野の県内に所在する全ての文化財について、設定された項目に沿って調査するもの。一番古い文化財、特徴的な文化財などが一目瞭然となり、調査結果は文化財指定の参考となる。

●(文化財)指定制度 【参考】
多くの文化財の中で特に価値が高く、重要なものを、法令に基づき指定し、現状変更の許可など強い規制により、恒久的な保護措置を図ろうとする制度のこと。文化財の種類・種別では、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、史跡・名勝・天然記念物で実施されてい

る。

●市町文化財行政担当者会議 【p49,53】
県が実施する、市町の文化財行政担当者を対象とした会議のこと。毎年4月に開催し、県から、国の制度・補助金の改正や県補助事業、現状変更や埋蔵文化財等の事務手続きなどの説明を行っている。

●周知の埋蔵文化財包蔵地 【p34】
土地に埋蔵されている文化財(遺跡と呼ばれる場所)の存在が知られている土地のこと。

●人生100年時代 【p3】
健康寿命が世界一の長寿社会を迎える中で、今後のさらなる延伸も期待されている、こうした超長寿社会のこと。「教育・仕事・老後」の単線型の人生ではなく、高齢者から若者まで活躍し続けられるよう、学び直し等の「人生の再設計」が求められる。

●世界文化遺産 【p24,30,45,53】
ユネスコ(UNESCO)が、世界遺産条約に基づき登録する世界遺産のうち、「文化遺産」に分類されるものこと。世界遺産は、ほかに「自然遺産」と文化遺産及び自然遺産からなる「複合遺産」がある。県内には、平成27年(2015)に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」を構成する23資産のうち、5資産(萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、萩城下町、松下村塾)が萩市にある。また、岩国市の「錦帯橋」が、世界文化遺産を目指している。

●(文化財)選定制度 【p29】
文化財保護法以外の法令で保護された文化財(都市計画法による伝統的建造物群保存地区、景観法による文化的景観)のうち、地方公共団体の申し出があったもので重要なものを、国が選定する制度のこと。現状変更などは届け出等で把握する。

●選定保存技術 【p29,30,34,44】
「文化財の保存技術」のうち、文部科学大臣が保存の措置を講ずる必要があると判断し、選定したものこと。その保持者ないし保存団体、あるいはその両方も合わせて認定される。「文化財の保存技術」とは、文化財の保存や存続のために欠くことのできない材料や用具の生産・製作、修理・修復の伝統的な技術または技能のこと。

●Society 5 . 0

【p1】

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立させる、人間中心の社会(Society)のこと。狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱された。

た行

●地域文化遺産

【p45】

地域に古くから継承されている当該地域固有の、有形及び無形の文化財やその保存技術のほか、茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化、囲碁、将棋その他の国民的娯楽などのこと。

●中国・四国地方における被災文化財等の保護に向けた相互支援計画

【p49】

中国・四国地方で大規模災害等が発生した場合、文化財やその保管施設等を迅速かつ確実に保護することを目的として、中国・四国の9県と2指定都市が申し合わせた支援計画のこと。文化財やその保管施設等の情報を共有し、大規模災害等発生時には被災県市の要請により、救援活動による資器材の供給、専門職員等の派遣、被災文化財等を一時保管するための施設の提供などを行うこととしている。

●中国・四国ブロック民俗芸能大会

【p44】

昭和34年(1959)から中国・四国の9県が持ち回りで毎年開催している、神楽や盆踊りなど民俗芸能の上演会のこと。各県から1団体、開催県は2団体出演している。鑑賞を通して、民俗芸能に対する理解と認識を深め、素晴らしさを広く知ってもらうことや、出演機会による民俗芸能の振興、文化の交流等を目的としている。北海道・東北ブロック、関東ブロック、近畿・東海・北陸ブロック、九州地区など全国で同様の民俗芸能大会が実施されている。

●出前講座

【p44】

県が実施する、ふるさとに誇りと愛着を持ってもらえるよう、小・中・高等学校及び総合支援学校等の児童・生徒を対象とした、地域の文化財に関する講座のこと。

●伝統的建造物群

【p22,24,29,30】

文化財の6類型の一つ。周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値

の高いもののこと。

●伝統的な生活文化

【p38,43】

茶道、華道、香道、和装、礼法、遊戯(囲碁、将棋、カルタなど)、文芸(和歌、俳句など)、書道、武道、料理、学問などのこと。

●天然記念物

【p3,5,6,7,8,9,10,11,27,29,30,33,52】

文化財の種別・類型の一つ。動物、植物及び地質鉱物で我が国にとって学術上価値の高いもののこと。保護の対象として、動物については生息地、繁殖地及び渡来地を、植物については自生地を、地質鉱物については間歇温泉など特異な自然現象が生じている土地を含む場合もある。史跡、名勝と合わせて、記念物に分類されている。

●登録記念物

【p5,27】

価値評価は定まっていないが、保護すべき意義があると思われる記念物を、文部科学大臣が登録し、指導、助言を基本として緩やかに保護したもの。

●(文化財)登録制度

【p29】

文部科学大臣が文化財登録原簿に登録し、現状変更、滅失・き損届を届け出制とし、それに対する指導・助言・勸告を基本とした緩やかな保護制度のこと。強い規制などにより保護を行う指定制度を補完するもの。近年の国土開発、都市計画の進展、生活様式の変化などにより、社会的評価を受けるまもなく消滅の危機にさらされている多種多様かつ多量の、近代を中心とする文化財を後世に幅広く継承していくことを目的としている。

国の登録制度では、有形文化財、有形民俗文化財及び記念物が対象となっている。

●登録文化財

【p29】

登録制度に基づき、文化財登録原簿に登録された文化財のこと。国の制度では、登録有形文化財、登録有形民俗文化財及び登録記念物がある。

な行

●日本遺産

【p45】

Japan Heritageともいう。文化財の種別にとらわれることなく、未指定のものも含め、地域に点在する文化財を使って、地域の歴史的魅惑や特色を語り、ひいては我が国の文化・伝統を語るストーリーを、文化庁が認定したもの。地域に点在する遺産を「面」として活用

し、発信することで、地域活性化を図っている。平成27年度(2015)から令和2年度(2020)までで100件程度認定することとしている。

は行

●ハザードマップ 【p49】

災害時に、住民が迅速かつ安全に避難し、人的被害を最小限度に食い止めることを目的として、予想される被害の程度や避難情報等の各種情報をわかりやすく表示した地図のこと。津波、高潮、洪水、土砂災害などのハザードマップがある。

ブイ・アール

●VR 【p41,44】

Virtual Reality(仮想現実)の略。コンピューターを使って、現実のような空間を作り出す技術のこと。

●ふるさと納税 【p43】

生まれ育った故郷や応援したい自治体を選んで寄付ができる制度のこと。寄付額のうち2,000円を超える部分について、所得税と住民税から原則として全額(一定の上限あり)が控除される。

●文化財 【p1,2,13,17,27,28,29,38,39,40,41,43,44,47,49,50,54】

人間の文化的活動によって生み出されたもののこと。形があるもの(有形)のみならず、形がないもの(無形)もある。文化財保護法では、このうち、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の6類型を対象とし、歴史上、芸術上、学術上、観賞上等の観点から価値の高いものについて、指定・選択・登録などの保護を行っている。

●文化財愛護団体 【p43】

文化財を愛する人たちが集い、文化財に関する学習や保存などの活動に取り組む団体のこと。郷土史研究会や天然記念物保存会、民俗芸能保存会などがあり、文化財の普及・啓発活動を担っている。本県では、昭和45年(1970)には、これらの文化財愛護団体を県単位で総括する組織として、山口県文化財愛護協会が設立されている。

●文化財調査官 【p47】

全国の有形・無形の文化財の保存・継承・活用を図るため、文化庁に配置されている文化財の様々な分野の専門家のこと。

●文化的景観 【p29,30】

文化財の6類型の一つ。地域における人々の生活、または生業及び当該地域の風土により形成された景観地で、人々の生活又は生業の理解に欠かせないので、歴史における価値が高いもののこと。文化的景観の対象は、長い間にわたり、人と自然の関わりの中で育まれたもので、手つかずの自然環境ではない。平成16年から文化財の類型に追加された。

●文化財防火デー 【p49】

昭和24年(1949)の1月26日は、法隆寺金堂壁画が焼損した日に当たることから、文化庁・消防庁がこの日を「文化財防火デー」と定めた。この日を中心に、文化財を火災、震災そのほかの災害から守るため、全国的に文化財防火運動を展開している。

●文化財防災ネットワーク推進事業 【p49】

独立行政法人国立文化財機構が、東日本大震災の文化財レスキューの経験の継承とともに、災害時における文化財の救出や応急処置、日常の備えを図るべく実施している事業のこと。九州・山口地方では、九州国立博物館が実施主体となっている。平時は、災害時における連絡体制の整備や、急変活動の知識の共有、被災を防ぐために必要な活動の学習など、文化財の防災・危機管理に関する研修会を実施している。

●文化財保護管理指導員 【p49, 53】

文化財保護法に基づき、都道府県や市町村の教育委員会(地方公共団体の長が文化財保護を担当する場合は、地方公共団体)が置くことができる文化財保護指導委員のこと。本県では「文化財保護管理指導員」という。文化財について、随時、巡視を行い、並びに所有者その関係者に対し、文化財の保護に関する指導及び助言をするとともに、地域住民に対し、文化財保護思想について普及活動を行うものとされている。

●文化財保護審議会 【p43,47,52】

文化財保護法に基づき、都道府県や市町村の教育委員会に設置することができる地方文化財保護審議会のこと。地方公共団体の長が文化財保護を担当する場合は、必置とされている。文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議・建議する。本県では、県教育委員会に県文化財保護審議会を設置しており、19市町すべてに設置されている。国においては、平成13年(2001)に国語審議会・著作権審議会・文化財保護審議会・文化功労者選考審査会が統合され、文化審議会となっており、その分科会や部会として、文化財分科会や世界文化遺産部会、

無形文化遺産部会がある。

●文化財保存活用計画 【p1,43】
文化財の所有者等が作成する、文化財の個別の状況に応じて、保存・活用の考え方や具体的な取組の内容を記載した、保存・活用に関する基本的な計画のこと。

従来、重要文化財(建造物)や史跡名勝天然記念物について作成が推進されてきたが、平成30年(2019)の文化財保護法の改正で、国指定・登録文化財に係る全ての類型(重要文化財、登録有形文化財、重要無形文化財、重要有形民俗文化財、重要無形民俗文化財、登録有形民俗文化財、史跡名勝天然記念物、登録記念物)で作成が推進されることとなった。

●文化財保存活用支援団体 【p43,54】
行政と連携しながら文化財の保存及び活用に取り組んでいく団体のこと。平成30年(2019)の文化財保護法の改正で新設された制度。文化財の継承の担い手が減少しつつあり、所有者や行政だけでは文化財を十分に保存及び活用することが困難となっている状況を踏まえ、地域で文化財所有者の相談に応じたり調査研究を行ったりする民間団体を文化財の保存及び活用の担い手として制度上位置づけるものである。

●文化財保存活用地域計画 【p1,43,47】
市町村が策定する、取り組んでいく目標や取組の具体的な内容を記載した、文化財の保存・活用に関する基本的な実行計画のこと。平成31年(2019)の文化財保護法の改正で新たに設けられた。

●文化財保存団体 【p43】
広義には、文化財の伝承、保存を行う団体をいう。本大綱では、無形文化財、無形民俗文化財における保持団体、保存会等保護団体のこと。なお、狭義には、文化財保護法で、「選定保存技術」の保存技術を守る団体のことをいう。

●文化財レスキュー事業 【p50】
文化庁による被災文化財等救援事業の通称。文化財・美術関係団体や地方公共団体等から派遣された職員が、独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所等を事務局とする被災文化財委員会の下、自然災害により被災した文化財(美術工芸品)等を緊急に保全し、廃棄・散逸や盗難の被害から防ぐもの。平成7年の阪神・淡路大震災以降、東日本大震災や熊本地震時に実施されている。

●ヘリテージ・マネージャー【p43,44,50,53】
地域に存在する歴史的文化遺産を発掘・保存・活用して、地域活性化に貢献する能力を有した人材のこと。文化財の調査や保全活動、活用計画策定の協力や活用の提案、災害時の文化財の救出などを行う。

ま行

●無形文化財 【p29,30,33,44】
文化財の6類型の一つ。演劇、音楽、工芸技術その他の形のない(無形)、文化的活動によって生み出される、歴史上または芸術上価値の高いものこと。その「わざ」を体現・体得した個人(保持者)又は団体(保持団体)によって表現される。よって、指定と、保持者または保持団体の認定が同時に行われる。重要無形文化財保持者として認定された個人は「人間国宝」と通称されている。

●無形民俗文化財 【p2,29,33,38,44】
文化財の類型・種別の一つ。地方において伝えられてきた衣食住・生業・信仰・年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術のこと。昭和50年(1975)までは、無形文化財の類型に位置付けられていた。

●名勝 【p3,8,9,10,21,24,27,29,31,38,52】
文化財の類型・種別の一つ。庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳その他の名勝地で芸術上または鑑賞上価値の高いものこと。この名勝地とは、素晴らしい景色と著名な和歌や小説が結びついた場所や、眺望のよい場所のことである。史跡、天然記念物と合わせて、記念物に分類されている。

や行

●有形文化財 【p14,15,17,18,19,20,21,22,24,25,26,29,31,43,47】
文化財の6類型の一つ。建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書その他の形のある(有形)、文化的活動によって生み出されたもので歴史上または芸術上価値の高いものや、考古資料、そのほかの学術上価値の高い歴史資料のこと。また、これらと一体的に扱われる土地や価値をともに構成している物件等も含む場合がある。有形文化財は、大きく、建造物と美術工芸品に分類されている。

●有形民俗文化財 【p18,23,29,30,33】

文化財の類型・種別の一つ。衣食住・生業・信仰・年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術などに使用される衣服、器具、家屋その他の物件のこと。昭和25年(1950)の文化財保護法制定当時は、有形文化財のうち民俗資料という分野に整理されていた。

ら行

●歴史的建造物 【p43,50】

おおむね、建築後50年を経過しているもので、建築当時の状態が保存されており、地域の歴史的景観を特徴づけている建造物のこととされている。有形文化財(建造物)は意匠、技術、歴史的価値、学術的価値など各時代又は類型の典型となるものとされており、これと比べ、歴史的建造物の対象は幅広い。

●歴史の道 【p45】

歴史的・文化的に重要な由緒がある古道や交通関係の遺跡を「歴史の道」として選定し、保存と活用を促進・顕彰する、文化庁の制度。平成8年(1997)に始まり、現在、「歴史の道百選」として、114件が選定されている。県内からは萩往還、赤間関街道、岩国往來の3件が選定されている。

